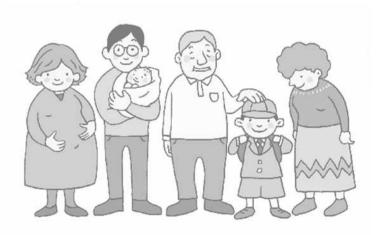
\ うるおい /

∖活性化 /



、すこやか /

\ まちづくり /





# 本日の内容について

- 1 「政策の体系」の概要
- 2 作成に当たっての考え方
- 3 各政策分野のポイント

# 1 「政策の体系」の概要

- 2 作成に当たっての考え方
- 3 各政策分野のポイント

# ① 次期基本計画の構成

#### 計画の背景

基本計画を策定するに当たり,特に注目すべき社会経済情勢

①人口減少と少子高齢化 ②地球温暖化の加速 ③グローバル化の進展 ④低経済成長と厳しい京都市財政 〈分野横断的な時代潮流〉 文化力 SDGs レジリエンス Socitey5.0

#### 都市経営の理念

都市政策を進めていくうえでの基本となる考え方

- 生活者を基点に、参加と協働で地域主権時代を切り拓く-

## 京都の未来像(6つ)

都市計画の理念に基づき, めざすべき京都の姿

地球環境にくらしが豊かに調和する 「環境共生と低炭素のまち・京都」

歴史・文化を創造的に活用し、継承する

いのちとくらしを守り、安心・安全で幸福を実感できる 「支え合い自治が息づくまち・京都」

「日本の心が感じられる国際都市・京都」

伝統と知恵を生かし、豊かな生活を支える 「環境と社会に貢献する産業を育てるまち・京都

だれもがともに学び成長し、未来を担う若者が育つ 「学びのまち・京都」

人間らしくいきいきと働き、家庭・地域で心豊かに生活できる 「真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都」

# 重点戦略(8戦略)未来像の実現方策。複数の行政分野を融合し、特に優先的に取り組むべき事項

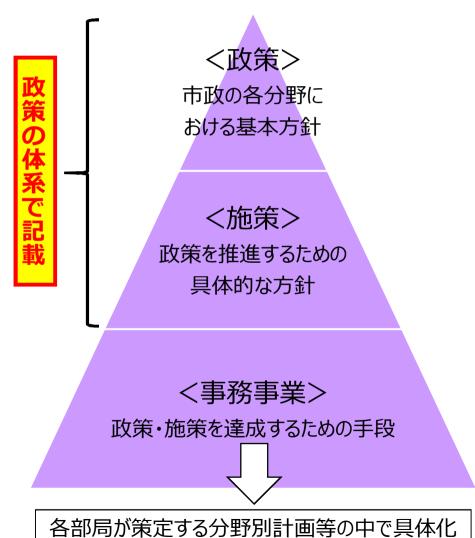
- ○多様な文化を創造・発信する「世界の文化首都・京都戦略」
- ○市民生活の豊かさと文化の継承・創造につなげる「世界に輝く観光戦略」
- ○京都の知恵を生かした「社会・経済価値創造戦略」
- ○歩いて楽しい持続可能な都市を構築する「土地・空間利用と都市機能配置戦略」
- ○都市環境と価値観の転換を図る「脱炭素・自然共生・循環型まちづくり戦略」
- ○京都ならではのはぐくみ文化が広がる「担い手成長支援戦略」
- ○人生100年時代に対応する「地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくり戦略」
- ○いのちとくらしを守り、都市の活力を支える「強靭なインフラ整備戦略」

#### 政策の体系(27分野) 市全体の総合的な政策体系を簡潔に示すとともに、各部局が策定する 分野別計画や毎年度の運営方針の基本となるもの

行政経営の大綱 基本計画を進めていくための基盤となる行政経営の方針

計画の推進 計画に掲げた政策の推進,点検,国や関係自治体との連携

# ②「政策の体系」の位置付け



#### <現行基本計画の政策分野「環境」での例>

DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?) を合言葉に, 自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす

- ・自然環境とくらしを気遣う環境の保全
- ・低炭素型のくらしやまちづくりの実現
- ・ごみを出さない循環型社会の構築

- ·生物多様性保全推進事業
- ・再生可能エネルギー等利用推進事業
- ・生ごみ減量推進事業

# ③「政策の体系」の構成(現行基本計画)

#### うるおい 活性化 8 産業・商業 1 環境 9 観光 2 人権·男女共同参画 3 青少年の成長と参加 10 農林業 4 市民生活とコミュニティ 11 大学 5 市民生活の安全 12 国際化 6 文化 フ スポーツ すこやか まちづくり 13 子育て支援 20 歩くまち 14 障害者福祉 21 土地利用と都市機能配置 15 地域福祉 22 景観 16 高齢者福祉 23 建築物 17 保健衛生・医療 24 住宅 18 学校教育 25 道と緑 19 生涯学習 26 消防・防災 27 くらしの水

# ④「政策の体系」の構成(次期基本計画)

#### うるおい

- 1 環境
- 2 人権·男女共同参画
- 3 市民生活とコミュニティ
- 4 市民生活の安全
- 5 文化
- 6 スポーツ

妊娠期から若者まで切れ目のない支援を 一体的に推進するため、現行基本計画の 「3 青少年の成長と参加」と 「13 子育て支援」を統合

#### すこやか

#### 12 子ども・若者支援

- 13 障害者福祉
- 14 地域福祉
- 15 健康長寿
- 16 保健衛生・医療
- 17 学校教育
- 18 生涯学習

全世代を対象とした健康づくりや 高齢者福祉の取組を一体化し, 「健康長寿のまち・京都」の取組 を推進するため,

現行基本計画の

「16 高齢者福祉」と

「17 保健衛生・医療」の一部を統合

#### 活性化

- 7 産業・商業
- 8 観光
- 9 農林業
- 10 大学
- 11 国際

東日本大震災や頻発する自然災害等を 踏まえ、今後の防災・危機管理の取組を 一層推進するため、現行基本計画の 「26 消防・防災」から独立

#### まちづくり

- 19 危機管理·防災·減災
- 20 歩くまち
- 21 土地・空間利用と都市機能配置
- 22 景観
- 23 建築物
- 24 住宅
- 25 道と公園・緑
- 26 消防·救急
- 27 くらしの水

# ⑤ 「政策の体系」の記載内容

本日御審議いただく部分

- ◆キャッチフレーズ:当該政策分野でめざす方向性
- ◆基本方針:「キャッチフレーズ」に掲げた方向性の実現に向けて
  - 取り組む方針(基本的考え、価値観等)
- ◆現状・課題:当該政策分野における主な現状と課題
- ◆関連データ: 「現状・課題」に関連するデータやグラフ等
- ◆みんなでめざす2025年の姿:当該政策分野において

市民と行政が共汗・協働して

実現をめざす2025年の姿

(政策が実現した状態)

次回御審議

◆市民と行政の役割分担と共汗:「みんなでめざす2025年の姿」を

実現するために市民や行政が担うべき

役割や共汗の在り方

◆推進施策:当該政策を推進するための個々の具体的な方針と、その体系

1 「政策の体系」の概要

- 2 作成に当たっての考え方
- 3 各政策分野のポイント

# 「政策の体系」の作成に当たっての考え方

- ・ 市政の各分野で,数多くの分野別計画や各種の審議会における議論が なされていることから,これらを最大限に活用する
- 各政策分野における現状・課題,これまでの重点戦略に係る議論等を 踏まえることで,基本方針,みんなでめざす2025年の姿の内容を進 化させる

#### 現行基本計画

人口減少と少子高齢化 地球温暖化の加速 グローバル化の進展 低経済成長と厳しい京都市財政 <分野横断的な時代潮流>

文化力 SDGs レジリエンス Society 5.0

- ① 各政策分野における 現状・課題(関連データ)
- ② 分野別計画や 各種の審議会での議論, これまでの重点戦略に係る 議論等
- ③ 基本方針, みんなでめざす2025年の姿

- 1 「政策の体系」の概要
- 2 作成に当たっての考え方
- 3 各政策分野のポイント

# 1 環境

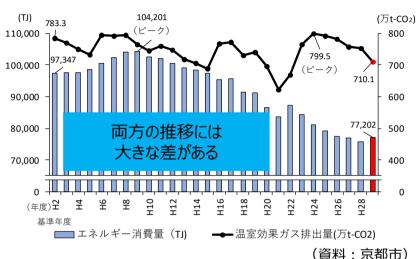
# ~CO₂排出量「正味ゼロ」に向けて, 環境と調和した持続可能な社会をめざす~



## 現状・課題(1環境)

- ◆全国をリードする地球温暖化対策, ごみ減量等の取組を推進してきた
- ◆世界の平均気温の上昇を1.5℃に 抑制するべく, あらゆる方策を追求 して取り組む必要がある
- ◆祭祀品(植物)の減少による伝統文 化継承の危機などが顕在化しており, 生物多様性に富んだ自然環境を一層 保全していく必要がある
- ◆近年, ごみ量の減量ペースが鈍化 しており、2R及び分別・リサイクル の一層の取組, さらには, プラスチ ックごみ対策も必要である
- ◆持続可能な社会を構築するため, 環境にやさしい実践活動の担い手の 育成が必要である

#### 【温室効果ガス排出量・エネルギー消費量の推移】



(資料:京都市)



(資料:京都市)

# 関連する分野別計画等(1環境)

# 京都市環境基本計画 <2016-2025> 分

省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの普及拡大 生物多様性の恵み豊かな自然環境の保全 2Rと分別・リサイクルの促進

#### 持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言



環境と調和した持続可能な都市文明を構築 持続可能社会を構築する「担い手」の育成

# 1.5℃を目指す京都アピール (他)

京都市長や当時の環境大臣等が2050年までのCO2排出量「正味ゼロ」に向けて,あらゆる方策を追求していく決意を発信

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた社会の実現 都市環境・価値観の転換,電気自動車の活用 広域連携,コミュニティ等を活用した省エネ・再生可能エネルギー拡大 イノベーション創出,京都の文化を支える自然環境の保全 動脈産業と静脈産業の循環,地産地消の仕組みづくり 「もったいない」「しまつ」

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(1環境)

#### 基本方針

豊かな地球環境を未来へ引き継ぐために、地球温暖化対策、生物多様性保全、ごみ減量等の課題に対し市民、事業者、地域団体、行政等、オール京都で、これまでの延長にとどまらない取組を実践し、2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」等の目標達成に向け、環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす。

### みんなでめざす2025年の姿

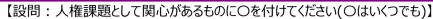
- 1 脱炭素社会の実現に向けたまちづくりが進んでいる
- 2 自然環境をかけがえのないものととらえ、生物多様性保全の取組が進んでいる
- 3 ごみの出ないくらしと事業活動が広がっている
- 4 持続可能な社会を構築する環境保全活動の担い手の育成が進んでいる

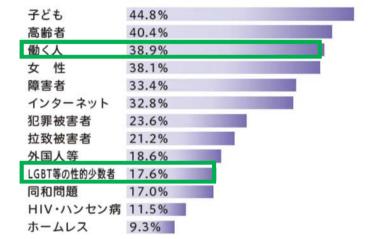
# 2 人権・男女共同参画 ~ひとりひとりが尊重される社会をめざす~



# 現状・課題(2 人権・男女共同参画)

- ◆人権課題は複雑化・多様化しており、働くひとやLGBT等の性的 少数者にかかわる問題など、新た に顕在化してきた課題も含め、教 育・啓発活動等が必要である
- ◆審議会などの女性委員の登用率 の増加など、男女共同参画が進む 一方で、女性に対するあらゆる暴 力や労働における不平等などの問 題が依然として存在している
- ◆真のワーク・ライフ・バランス (仕事と生活,地域活動等の調和) の言葉や考え方は定着してきたも のの,必ずしも市民や企業の実践 に結びついていない





(資料:京都市「人権に関する市民意識調査(H30)」)

【京都市DV相談支援センターにおける相談延べ件数の推移】



# 関連する分野別計画等(2 人権・男女共同参画)

## 京都市人権文化推進計画 <2015-2024> 分

市民との協働による人権文化の土壌づくり 人権尊重の理念を基調とした行政の推進 社会状況に対応した戦略的な人権施策の推進 各部局の連携による総合的な人権施策の推進

#### 第4次京都市男女共同参画計画「きょうと男女共同参画推進プラン」 〈改定版〉 <2011-2020> 分

個人の尊厳が確立された社会づくり 男女が共に安心して働き続けられる環境づくり 自立した個人の生き方を尊重し支え合える家庭づくり 生涯を通じた健康な暮らしづくり あらゆる分野に男女が平等に参画できる条件づくり 男女共同参画の推進に関する国際社会との協調

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

多様性の受容,地域共生・社会的包摂 働き方改革で生まれた余暇を地域活動につなげることが必要 働きながらでも地域活動に参加できる方策・モデルが必要

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(2人権・男女共同参画)

#### 基本方針

少子高齢化や国際化,情報化,経済・雇用環境の変化が進むなか,多様な考え方や生き方が迎え入れられ,個性と能力を十分に発揮でき,日々の交流のなかからひとりひとりが尊重され,より豊かな人間関係が育まれるだれひとり取り残さない共生社会をめざす。

### みんなでめざす2025年の姿

- 1 ひとりひとりが互いを認め合い、より豊かな人間関係が育まれている
- 2 すべての市民がいきいきと活動できる場所と機会に恵まれている
- 3 DVなどあらゆる暴力が根絶され、安心してくらしている
- 4 真のワーク・ライフ・バランスが進展している

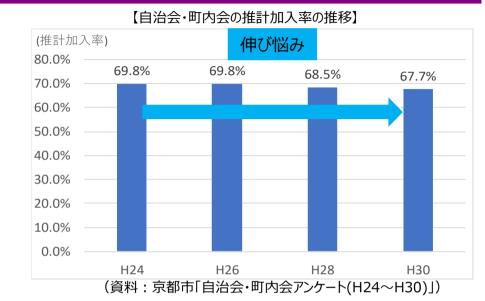
# 3 市民生活とコミュニティ

~だれもがつながり,支え合う, 多様な地域コミュニティの活性化に向けた まちづくりを進める~

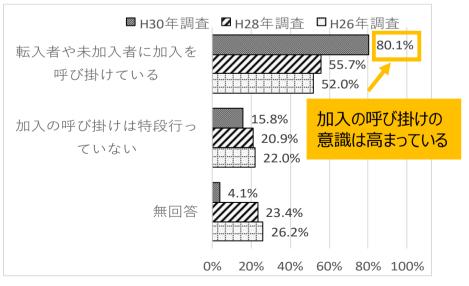


# 現状・課題(3 市民生活とコミュニティ)

- ◆NPOをはじめとする多くの市民活動団体が活発に活動する一方, 自治会・町内会加入率の伸び悩みが続いており,担い手不足が顕在化している
- ◆急速な人口減少や高齢化が進む 北部山間地域をはじめとして,社 会的な課題が多様化するなか,地 域住民が支え合い,安心して快適 にくらすことができる地域コミュ ニティを実現する必要がある
- ◆そのためにも,地域団体や地域 企業,市民活動団体等が連携した まちづくりが必要となっている



【設問:転入者や未加入者に加入を呼び掛けていますか】



(資料:京都市「自治会・町内会アンケート(H30)」) 21

# 関連する分野別計画等(3 市民生活とコミュニティ)

#### 京都市地域コミュニティ活性化推進計画 改定版 <2012-2020> 分



気軽に交流できる居場所

地域の防災力を高めるまちづくり

自治会・町内会などへの加入促進

地域の活動に積極的に参加できる、みんなが主役のまちづくり

自ら地域の課題に気づき,解決のため行動する

お互いの顔が見えるまちづくり

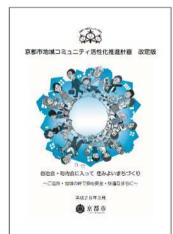
地域と行政が共に歩むまちづくり

地域の様々な団体や事業者などが連携しやすい環境整備

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

コミュニティづくり・場づくりを促進する共有空間(コモンズ)が重要

コミュニティの多様化(SNS,子ども食堂等)



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(3 市民生活とコミュニティ)

#### 基本方針

自治会・町内会などの地域団体をはじめ、地域企業、市民活動団体等が地域のさまざまな課題に対して、連携して解決に取り組むとともに、地域におけるさまざまな居場所や活躍の場づくりなどを進め、これを行政が支えることで、多様な地域コミュニティの活性化に向けたまちづくりを進める。

### みんなでめざす2025年の姿

- 1 だれもが気軽に参加できる居場所があり、顔の見える関係づくりを通して、 安心してくらすことができている
- 2 多様な地域コミュニティが自分たちの地域の課題を把握し、解決に向けて 主体的に取り組んでいる
- 3 市民活動団体等と地域団体が連携し、地域コミュニティの活性化に向けた活動が進んでいる

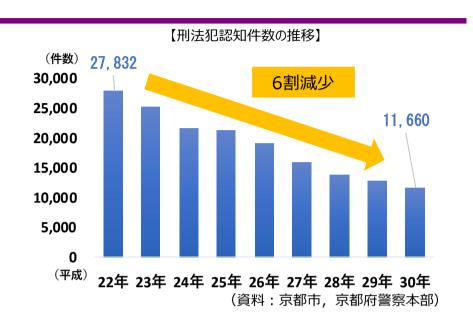
# 4 市民生活の安全

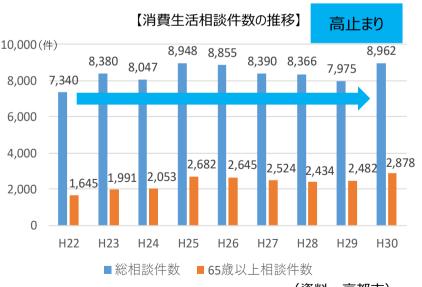
~市民ぐるみ・地域ぐるみで, すべてのひとが 安心して安全にくらせるまちをめざす~



# 現状・課題(4 市民生活の安全)

- ◆刑法犯認知件数が減少するなか, 一部の罪種は被害件数の増加,又 は減少の鈍化が目立っている
- ◆防犯等の地域活動の担い手不足 などに対応するため,多くの住民 ・事業者等が参加し,一体となっ て活動を活性化させる必要がある
- ◆消費生活相談件数が高止まりするなか,成年年齢引き下げに伴い, 消費者被害を未然に防止するため の取組がますます重要となる
- ◆ひとや社会・環境・地域に配慮 した消費活動(エシカル消費)の 普及促進を図る必要がある





# 関連する分野別計画等(4 市民生活の安全)

### 第2次京都市生活安全(防犯・事故防止)基本計画【改定版】 <2011-2020>分)

地域コミュニティの活性化を図り,共助を高めていく 地域の防犯等の定着を図る 積極的に,多様な担い手と連携することを目指す

# 京都市消費生活基本計画 <2011-2020> 分

安心・安全な消費生活環境の整備

消費者被害の救済

消費者被害の未然防止・拡大防止のための実効性の確保 消費者の自立支援

豊かにくらすことができる環境の整備・創造

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

犯罪・再犯防止



# 基本方針と2025年の姿(4 市民生活の安全)

#### 基本方針

京都がもつ地域力を生かし、地域住民をはじめあらゆる関係機関と一層連携を深めることにより、犯罪、交通事故、消費者被害・契約トラブルを予防し、被害拡大防止のために対応するとともに、被害に遭わないようよりよい防犯環境へと発展させていく。

また,市民が地域における防犯活動・交通安全運動などの活動に積極的に参加し,取組の輪を大きくすることができるような施策を展開することで,すべてのひとが安心して安全にくらせるよりよい地域共生社会を実現する。

## みんなでめざす2025年の姿

- 1 担い手を確保し、防犯等の地域活動が活発に行われている
- 2 地域のつながりが一層深化し、いつ・どんなときも助け合えるまちになっている
- 3 消費者被害の防止が図られ救済体制も充実している
- 4 みずから考え行動する消費者が増えている

# 5 文化

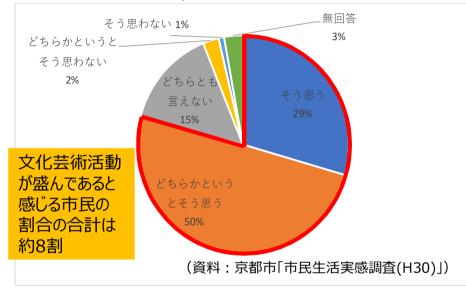
~京都の「伝統と革新」の精神に基づき蓄積してきた 有形無形の文化を継承,活用,創造し続ける 「世界の文化首都・京都」を実現する~



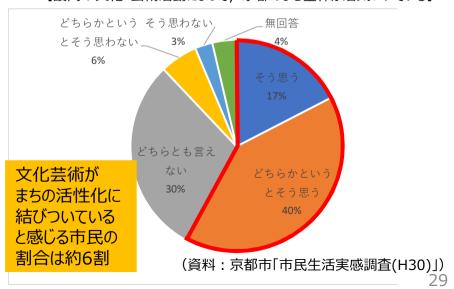
# 現状・課題(5 文化)

- ◆多彩な文化資源が集積する京都において、新・文化庁と連携しながら、京都が「文化を活用した地方創生のモデル」となり、文化芸術立国に貢献していく必要がある
- ◆京都のひとびとの生活,歴史と 文化の理解のために欠くことがで きない京都文化遺産の「保存と活 用の好循環」を創出するとともに, 文化財の防災・防犯の充実を図っ ていく必要がある
- ◆京都の文化の担い手・支え手を 形成していく必要がある

#### 【設問:京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである】



【設問:文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている】



# 関連する分野別計画等(5 文化)

#### 第2期京都文化芸術都市創生計画 <2017-2026> 分

暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む 多様な文化が根付く暮らしの中から、最高水準の文化芸術活動を花開かせる

文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により、新たな価値を創造する様々な文化交流を推進し、京都の魅力を発信する

文化の力で京都から地方創生を実現する

### 京都文化芸術プログラム2020+ <2014-2020> (分)

次の世代の担い手育成 今に息付く文化を守り,活かし,創造する 京都の魅力発信,国内外との連携

#### 京都市におけるこれからの文化財保護の在り方について(京都市文化財保護審議会答申)

京都の人々の生活,歴史と文化の理解のために欠くことができない有形,無形のものすべてを「京都文化遺産」と位置づける

「保存と活用の好循環」が不可欠

# 文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次)【文化庁】(他)

文化芸術資源で未来をつくり, 「文化芸術立国」を目指す

#### 重点戦略に係る議論の中で議論いただいたキーワード

京都の様々な文化,有形無形の京都文化遺産の継承,保存と活用の好循環の創出 経済・産業の活性化・観光との連動,ものづくり文化が重要,国際化の観点が必要 日常的に文化に親しむ機会の創出,担い手の育成と創造環境の整備

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(5 文化)

#### 基本方針

市民の生活に息づくくらしの文化や、伝統文化から現代芸術まで幅広い文化、有形無形の文化遺産をはじめとする多様な文化を維持、継承、活用しつつ、創造的に発展させていくため、持続可能な文化施策を展開する。また、文化とあらゆる政策の融合を推進し、そこから生まれる新たな価値が相乗効果を生み、文化芸術が経済や社会の発展を牽引する「地方創生のモデル都市」となるとともに、新・文化庁と連携し、日本の文化GDPの拡大や「文化芸術立国」に貢献する。

## みんなでめざす2025年の姿

- 1 日常のくらしのなかに文化がとけこみ、だれもが文化に触れることができている
- 2 文化によって社会,経済が活性化され,国際交流や世界平和に貢献している
- 3 京都文化遺産が、多くの市民や関係者により生かされ、守り伝えられている
- 4 次世代の文化の担い手・支え手が育っている

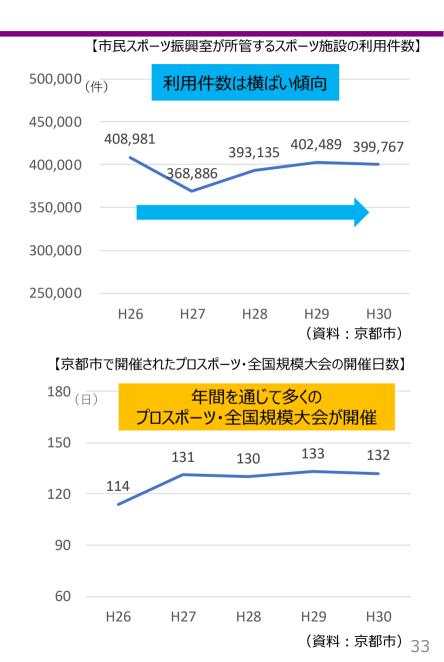
# 6 スポーツ

~人生100年時代を見据え,スポーツを通して,健康で心豊かなくらし,ひととひととのつながり,まちの魅力向上をめざす~



## 現状・課題(6 スポーツ)

- ◆多様なニーズにこたえるスポーツ施設の提供が求められている。また,府市協調の推進・民間資金の活用も含めた,施設整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修が必要である
- ◆体育振興会の役員の固定化やスポーツ推進指導員の減少など,地域スポーツを支える新たな担い手の確保・育成が課題である
- ◆大規模国際スポーツ大会の国内開催によるスポーツに対する関心の高まりを、一層のスポーツ振興と健康づくり、ひとのつながり、まちの魅力向上に結びつけることが必要である



# 関連する分野別計画等(6 スポーツ)

### 京都市市民スポーツ振興計画改定版 スポーツの絆が生きるまち推進プラン <2011-2020>分

多様な組織や団体との連携・協働により,スポーツを通して地域の絆がより一層固く結ばれるまちづくりを推進

高齢者はもとより、だれもがライフステージに応じたスポーツ活動を推進

大規模国際スポーツ大会の機運を生涯スポーツの普及・振興につなげる 施策展開

## 大規模国際スポーツ大会の国内開催(他)

東京オリンピック・パラリンピック ワールドマスターズゲームズ2021関西

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

スポーツを通じた他者への理解の促進,スポーツの多面性の活用 ゴールデンスポーツイヤーズを契機としたスポーツ振興・文化発信

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

食物市市量スポーツ接着計画改学に

スポーツの絆が生きるまち推進プラン

# 基本方針と2025年の姿(6 スポーツ)

#### 基本方針

「だれもが、いつでも、どこでも、する・みる・支える、さまざまなかたちでスポーツやレクリエーションに親しみ、その環境をみんなで支え合うまちづくり」を市民、関係団体等と行政とが一体となって進める。人生100年時代を見据え、市民ひとりひとりがスポーツを楽しむことで、健康や心の豊かさを享受するとともに、多様な仲間とつながる取組を推進する。スポーツと文化、産業、観光、環境、教育などとがつながることで、京都のまちをさまざまな分野からより魅力あるものにする。

### みんなでめざす2025年の姿

- 1 スポーツを楽しみ、スポーツを通して健康で心豊かなくらしを築いている
- 2 スポーツを通して、多様なひととひととがつながっている
- 3 スポーツを身近に感じ、スポーツがまちの魅力を高めている

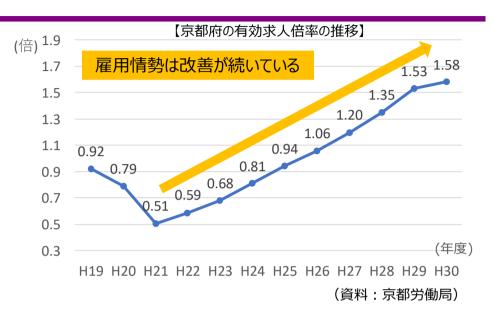
# 7 産業・商業

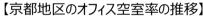
~文化と経済の融合,異分野との交流促進で 次世代産業を生み出す産業創造都市をめざす~

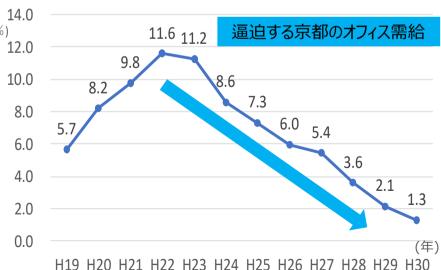


### 現状・課題(7 産業・商業)

- ◆雇用情勢は改善しているが, 中小 企業では, 生産年齢人口の減少に伴 う中小企業の担い手不足や事業承継 が大きな課題となっている
- ◆新技術の進展,世界的なクリエイ ティブ企業の進出等を踏まえ,産学 公連携を一層進め, 新たなイノベー ションの創出を促進する必要がある
- ◆逼迫するオフィスや事業用地の需 給に対応する必要がある
- ◆時代の二一ズにこたえるものづく りや流通システム、地域の特性に応 じた商業の活性化が求められている
- ◆市民の「食の安全・安心」, 育!への関心が高まっている







(資料:三鬼商事株式会社)37

## 関連する分野別計画等(7 産業・商業)

### 京都市産業戦略ビジョン <2016-2020> 分

所得と雇用の創出(経済の成長と循環), 活躍の場の提供 新たな価値の創造,中小企業・小規模事業者の地域活動における貢献

### 第3期京都市伝統産業活性化推進計画 <2017-2026>分

創造的活動に対する支援 教育や学習の場における取組の実施 関心と理解を深める取組の実施 技術の継承や後継者の育成 活性化拠点施設等の機能の充実

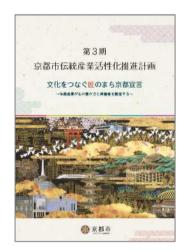
### 京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン <2016-2025> (分)

安全・安心な生鮮食料品等の安定供給に向けた取組の推進 競争力のある市場を目指した取組の推進 文化と健康を守る食生活・食習慣の普及促進 災害発生時における拠点機能の強化

#### 重点戦略に係る議論の中で議論いただいたキーワード

京都の資産(知恵・技術・文化等)を活用して価値を生み出す視点が重要 産業人材の育成環境の整備・集積・ミックス,オープンイノベーション・交流 産業のクラスター化,雇用・産業用地の創出,働き方改革,生産性の向上 など

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他



# 基本方針と2025年の姿(7 産業・商業)

### 基本方針

京都のまちに息づく伝統文化とそれを支える匠のわざ、ひとびとの生活文化や美意識、さらには地域企業の優れた技術力、大学の集積といった京都の「強み」を生かすとともに、国内外からの起業家の呼び込みやクリエイティブな企業の進出によって、文化と経済の融合、異分野との交流による新たなイノベーションを加速し、次世代産業を生み出す産業創造都市をめざす。

また,地域コミュニティを支える地域企業の発展と担い手の確保や,伝統産業,商店街の振興,京都の豊かな食生活を支える流通体制の整備によって,持続可能な京都経済の好循環を生み出し,市民生活の豊かさにつなげていく。

- 1 地域や文化を支え,京都経済の原動力である地域企業が,地域とともに持続的に発展している
- 2 多様な担い手が地域企業を支え、だれもが働く喜びを実感できている
- 3 世界有数のスタートアップ拠点都市として、世界に羽ばたく企業が生まれている
- 4 ものづくり都市として、新たな価値を創造し続けている
- 5 日本の文化を支える京都の伝統産業が、魅力的な産業として継承されている
- 6 商いでにぎわい、都市の活力が生み出されている
- 7 安全・安心な流通体制が構築され、京の食文化が生き続けている

# 8 観光

# ~市民生活との調和を最重要視した 「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市」を めざす~



# 現状・課題(8 観光)

- ◆観光消費額は3年連続で1兆円を 突破し、その経済効果は幅広い産 業に波及している
- ◆日本人観光客の約半数が訪れる 地域がある一方,山科,高雄等, 訪問率が低い地域もある
- ◆京都市に宿泊するひとの比率や, 京都開催の国際会議の件数は,近 年大きく増加している
- ◆一部の観光地・市バスの混雑, 観光客のマナー違反等,市民生活 との調和に係る課題が生じている
- ◆観光関連産業は,非正規雇用率 や新規大卒就職者の離職率が高く, 担い手の確保・育成が課題である

#### 【観光消費額の推移】



【京都市で開催された国際会議の件数と参加者数】



(資料:公益財団法人京都文化コンベンションビューロー 「2018 京都開催の国際会議」を京都市が加工)41

# 関連する分野別計画等(8 観光)

「市民生活との調和を最重要視した持続可能な観光都市」の実現に向けた基本指針と具体的方策について(中間取りまとめ)~市民 ・ 観光客 ・ 事業者 ・ 未来 四方よしの持続可能な観光地マネジメントの実践~ (他)

地域,交通機関等の実情に応じた観光需要のきめ細かいマネジメント・分散化市バスにおける移動経路の分散化と乗降時間の短縮市民の安心・安全,地域文化の継承を重要視しない宿泊施設はお断り!より質の高い宿泊観光への進化

"郷に入れば郷に従う"京都のマナー遵守に向けた効果的な啓発 宿泊税を活用した地域の取組への支援

京都観光振興計画2020 <2014-2020> 京都観光振興計画2020<sup>+1</sup> <2018-2020>

「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市」を目指す

京都市MICE戦略2020 < 2014-2020 > 分

ワンストップ窓口など,選択されやすい環境を整備 世界の平和や人類の未来に貢献する国際会議を誘致

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

観光を活用して文化を継承,市民生活が一番ということを市民に分かりやすく伝える観光効果の市域全体への還元,観光客の分散化,ホスピタリティ・おもてなし

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(8 観光)

### 基本方針

市民・観光客・事業者、そして未来にとってよりよいまちづくりを推進することによって、「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市」を実現し、市民が温かく観光客を迎え入れ、市民と国内外からの観光客との交流が盛んなまちをめざす。そのために、地域の特性や意向に応じ、観光課題の解決をはじめ市民生活の安心安全、地域文化の継承を最重要視した市民生活と観光の調和に全力をあげて取り組む。

そして、引き続き観光の質を高めることで、市民、観光客、観光事業者の満足度を向上させるとともに、観光とMICEによる経済効果を京都経済全体に波及させ、市民生活の豊かさ、文化の継承・創造につなげる。

- 1 市民生活との調和が図られ、観光の経済効果が広く行き渡っている
- 2 京都観光の質が向上し、観光客が高い満足を感じている
- 3 国際MICE都市としての京都ブランドが確立している
- 4 京都の観光を支える担い手の確保と育成が進んでいる

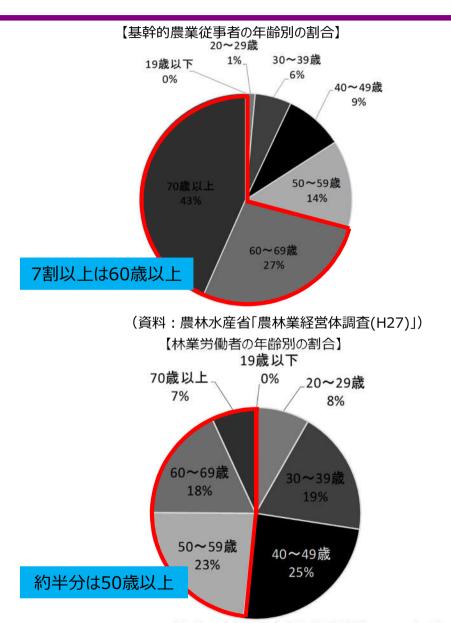
# 9 農林業

~ひとと自然が共生し,豊かな京のくらしを支える 農林業をめざす~



### 現状・課題(9農林業)

- ◆農林業従事者の減少・高齢化に伴い,多様な担い手の確保,農地 ・森林を適切に管理するしくみの 構築のほか,集約化や大規模化等 による効率的な経営が必要である
- ◆災害に強い森づくり,野生鳥獣 対策等を進める必要がある
- ◆二酸化炭素の吸収や生物多様性の保全といった森林の多面的機能の発揮のほか,食文化,文化財等の京都の文化芸術を支える農作物や森林資源,森林景観を保全していく必要がある
- ◆農林業を身近に感じない市民が 依然として多く,農林業に触れる 機会を増やす必要がある



(資料:京都府「京都府林業統計(H30)」)45

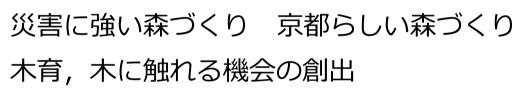
# 関連する分野別計画等(9農林業)

### 京都市農林行政基本方針 中間報告書 = セカンドステージ =

<2016-2019>分

人と自然が共生する豊かな京の暮らしの実現

### 森と木の恵みを育む推進会議



情報発信の強化

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

森林の再生

京都の文化を支える自然環境の保全



# 基本方針と2025年の姿(9農林業)

### 基本方針

京都市の農林業は、市民に食料や木材を供給するとともに、食文化、文化財、伝統芸能や伝統産業等、京都のひとびとのくらしや文化を支える産業として発展してきた。二酸化炭素吸収源としての機能をはじめ、生物多様性の保全や美しい景観の形成等の多面的な機能を有する農地や森林が今後も適切に保全されるよう、産業としての魅力を高めて担い手を確保し、持続可能な農林業をめざす。

さらに、台風や集中豪雨等の自然災害の多発や環境の変化に対して高い対応能力を備えた農林業を推進し、市民生活の安全・安心の確保につなげる。

また、京都市の文化芸術の継承・発展を支える京都ならではの農林業の振興を図るとともに、市民が自然とふれあう機会を創出する。

- 1 農林業の産業としての魅力が高まり、多様な担い手が活躍できる環境が整っている
- 2 災害や環境変化への対応能力が向上している
- 3 農林業が京都の都市の魅力を支えるとともに、環境や社会に貢献している
- 4 市民の農林業への参加と理解が進み、ひとと自然が共生するまちづくりが進んでいる

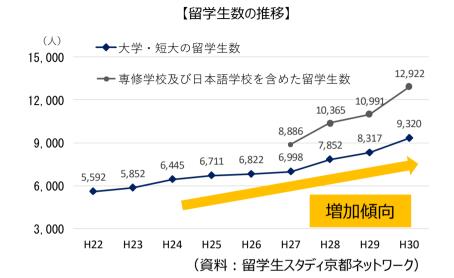
# 10 大学

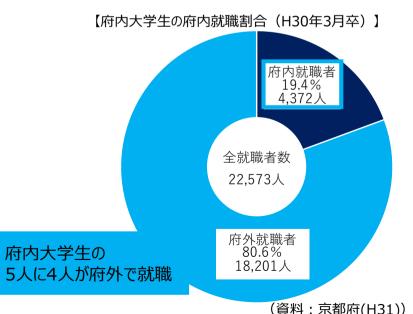
〜大学・学生,地域,企業,行政等, オール京都の総合力を結集して,世界に誇る 「大学のまち」「学生のまち」であり続ける〜



## 現状・課題(10 大学)

- ◆世界中から多様な学生が集い, 学び合えるまちとなるよう, 学生 を呼び込んでいく必要がある
- ◆地域企業の人材確保や国際競争 力の向上等につなげるため,留学 生誘致と定着に向けた支援をさら に推進する必要がある
- ◆学生のもつエネルギーとチャレ ンジ精神を地域の課題解決に生か すなど,大学・学生によるまちづ くりを進めていくことで、京都の 経済・文化・地域をより一層活性 化する必要がある
- ◆卒業後,他の大都市に就職する 傾向があるなか, 学生の京都での 定着を図る必要がある





# 関連する分野別計画等(10 大学)

# 大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019-2023 < 2019-2023 > 分



「京都」で学ぶ意義の再確認と魅力の向上、国内外への発信強化

大学の個性化・特色化の取組を全面的にサポート

京都の将来の担い手の育成

大学の知・学生の力をいかした産業・文化の創造・発展と地域の活性化

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

学生にやさしいまちづくり

学生・留学生への京都文化の浸透

大学・学生の国際化

リカレント教育



# 基本方針と2025年の姿(10大学)

### 基本方針

千年を超えて、都市の機能・文化が継承・発展しつつ、世界にも開かれた稀有な都市「京都」で学ぶ意義を再確認し、その魅力を高めるとともに、国内外に強力に発信することで、留学生、社会人を含む多様な学生を受け入れ、これからの社会の担い手を京都から輩出する。また、京都のすべての大学が個性・特色を生かしながら発展し続けられるよう、大学の取組を全面的にサポートするとともに、集積された大学の知・学生の力を最大限に生かした、産業・文化の創造・発展、地域の活性化をより一層進める。

- 1 だれもが京都ならではの学びと出会えるまち
- 2 多様なひとびとがいきいきと学び、京都や世界で活躍するひとが育つまち
- 3 地域で、学生が活躍し、成長するまち
- 4 京都で学んだ学生が京都でいきいきと活躍するまち
- 5 大学との連携で、市民や企業が新しいみずからを創造するまち
- 6 「大学のまち」「学生のまち」の都市ブランドを発揮するまち

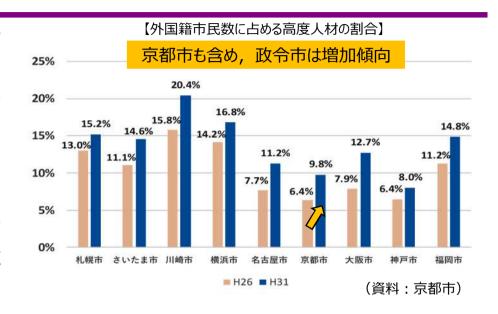
# 11 国際

# ~だれもがくらしたくなる,魅力あふれる世界の都市 「KYOTO」をめざす~

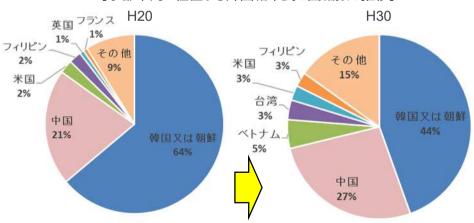


# 現状·課題 (11 国際)

- ◆都市間における人材の取り込みや 企業誘致の競争が激しくなるなか, 世界に向けた魅力発信とともに,世 界の優れた企業や人材に選ばれるよ うな環境の整備が求められる
- ◆都市間交流においては,友好親善を目的とした文化交流に加えて,経済発展や課題解決などにつなげることのできる交流が求められる
- ◆交流団体において,若い世代を中心に担い手が不足しており,人材の発掘・育成が必要となる
- ◆外国籍市民が増加し、その国籍などが多様化するなか、異なる価値観をだれもが認め合い、協働しながらまちづくりができる環境を整える必要がある







外国籍住民の国籍は多様化 (H20:120箇国→H30:156箇国) (資料:京都市)

# 関連する分野別計画等(11 国際)

# 京都市国際化推進プラン 改訂版 < 2014-2020 > 分

世界の人々をひきよせる「おもてなし」のまち・京都の魅力の向上と発信市民主体の国際交流・国際協力の推進

外国籍市民をはじめとするすべての人々が暮らしやすく活躍できるまちづくりの推進

### 京都市国際化推進プラン点検委員会(審)

世界中からどういった人を引き寄せたいのかを明確にすること

# 京都市多文化施策審議会(審)

多文化・多世代の人たちが交流する機会を広げるとともに,多文化共生の担い手育成に 取り組むこと

国籍や文化的背景の違いを超えて,多文化理解を深められる取組を 充実させること

外国籍市民等の個々の事情に配慮して,日本語学習支援をはじめとする コミュニケーション支援の取組を進めること

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

多文化共生,異文化・多様性の受容 外国の知的労働者の定着とそのための環境整備 留学生や研究者だけでなく,起業家の誘致

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(11国際)

### 基本方針

京都が世界に誇る歴史や伝統文化、産業、緑豊かな風土に加え、環境や景観等の先進的な取組など、京都の魅力を広く世界に発信するとともに、世界中から多種多様なひとびとを積極的に受け入れ、さまざまな交流を通して新しい価値を創造する世界の都市「KYOTO」をめざす。

また、あらゆる市民が外国文化への理解を深めることにより、異なる文化的背景や価値観等の多様性が生かされるまちづくりを推進する。

- 1 世界中のひとびとを魅了し、国際的な人材が集まるまちになっている
- 2 海外都市との連携が強まり、国際社会に貢献するまちになっている
- 3 さまざまな世代で国際交流の意識が高まり、国際感覚をもった人材が育つまちになっている
- 4 多様性を生かしたまちづくりが進み、市民の生活が豊かになっている

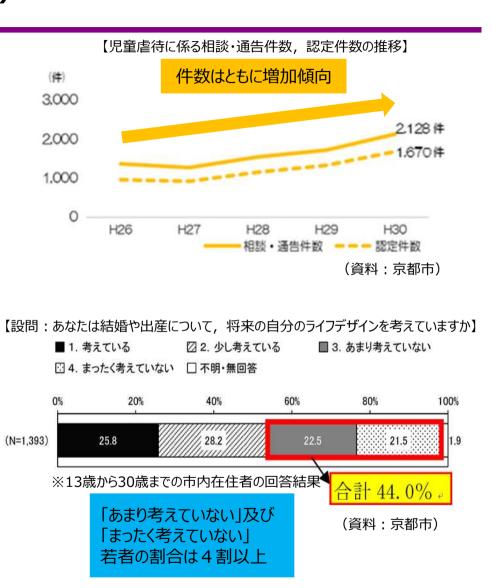
# 12 子ども・若者支援

~すべての子ども・若者・子育て家庭を大切に! 笑顔あふれる『子育て・「共育」環境日本一』を めざす~



# 現状・課題 (12 子ども・若者支援)

- ◆家族規模の縮小や地域のつながり の希薄化等により、子ども・若者と その家庭が不安や悩みを抱え、孤立 しやすい状況になっている
- ◆子ども・若者を取り巻く課題が複雑・複合化するなか,とくに支援を必要とする子ども・若者とその家庭に対する支援を,よりきめ細かく行うための体制充実が求められている
- ◆将来や進路等に対して不安をもつ 子ども・若者は多く,若者の社会的 な自立も課題となっている
- ◆子ども・若者とその家庭が大切に され、笑顔があふれる社会にするた め、京都ならではのはぐくみ文化を 最大限に発揮していく必要がある



# 関連する分野別計画等(12 子ども・若者支援)

# 京都市はぐくみ推進審議会(審)

京都で育ち合い,学び合った子どもや若者が将来の展望を持って成長するとともに,京都に住み,働く人が幸せと希望を感じ,暮らし続けたいと思えるまちを実現する

「妊娠前から子ども・若者までの切れ目ない支援」を更に推進し,結婚・ 出産・子育ての希望を持つすべての人の想いを叶え,京都市ならではの市民 力・地域力・文化力を結集した「市民の生き合う力」を高める

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

京都ならではの育ち

保育の担い手確保, 少子化対策

学び合い・育ち合う環境づくり

自己肯定感・自立心の育み



子育てへの寄り添い,地域ぐるみの子育て支援,スマート子育て社会生きづらさを感じている子ども・若者への支援,切れ目ない支援 第3の居場所づくり,参加しやすい地域・コミュニティづくり

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(12子ども・若者支援)

### 基本方針

妊娠前から子ども・若者までの切れ目ない支援をさらに推進するとともに, 京都ならではの市民力・地域力・文化力を結集して市民の生き合う力を高め, 子ども・若者が将来の展望をもって成長できるまちを実現する。

- 1 子どもが大切に育まれ、希望をもって育ち合うことができる
- 2 若者が多様な可能性の下、主体的に未来を切り拓いていくことができる
- 3 子ども・若者を育むすべての家庭が、子育てから学び、子どもとともに育ち合うことができる
- 4 身近な地域が子ども・若者を社会の宝として大切に育むとともに, 子育て家庭を温かく応援している

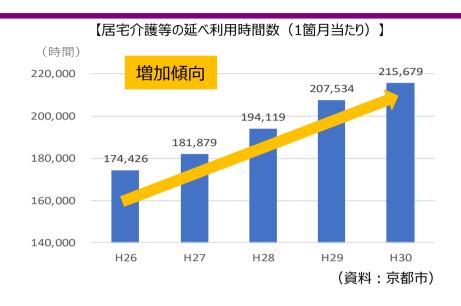
# 13 障害者福祉

~障害のあるひともないひとも, すべてのひとが 違いを認め合い, 支え合うまちづくりを推進する~



# 現状・課題(13 障害者福祉)

- ◆障害や障害のあるひとに対する 理解を深め,広げていく取組が重 要である
- ◆障害のあるひとが地域で自立した生活を営むためには, ニーズに応じたきめ細かな障害福祉サービスが提供できるよう, 相談支援の充実や基盤整備が求められている
- ◆障害のあるひとが生きがいをもち, 意欲や能力に応じて, 社会の一員として活動できる一層のしくみづくりが必要である
- ◆物理的なバリアや情報保障,意思疎通等の面で障壁を取り除いていく必要がある



#### 【福祉施設から一般就労への移行者数】



# 関連する分野別計画等(13 障害者福祉)

# はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン <2018-2023> 分

お互いに認め合い支え合って暮らすまちづくり 地域で自立して生活できる仕組みづくり 安心して生活できる社会環境の整備 生きがいや働きがいをもてるまちづくり



# 京都市みやこユニバーサルデザイン審議会審

ユニバーサルデザインは福祉だけでなく,全ての生活者を含めての観点

## 京都市手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例 < 2016.4.1施行> 他

手話への理解促進・普及をすすめ、全ての人が相互に人格と個性を尊重

### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

地域共生・社会的包摂, ダイバーシティのモデルづくり

# 基本方針と2025年の姿(13障害者福祉)

### 基本方針

障害のあるひとが、地域で自立した生活を営み、社会のさまざまな分野の活動に参加できるよう、障害者施策の総合的、分野横断的な展開を図る。これにより、障害のあるひともないひとも、すべてのひとが尊重し合い、地域社会のなかで、お互いに認め合い、支え合い、安心してくらせるまちづくりを推進していく。

- 1 お互いに認め合い、支え合い、安心してくらせるまちづくりが進んでいる
- 2 障害のあるひとが地域で自立した生活を営むことができている
- 3 障害のあるひとが生きがいをもって、就労や地域活動等に取り組める社会環境づくりが進んでいる
- 4 すべてのひとにとって生活しやすい社会環境の整備が進んでいる

# 14 地域福祉

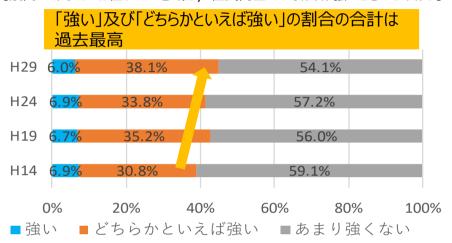
# ~京都の地域力を生かし地域共生社会の実現を めざす~



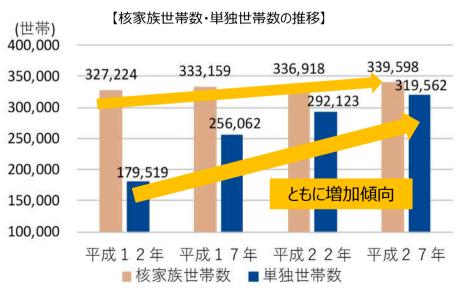
# 現状・課題(14 地域福祉)

- ◆地域のつながりのなかで,多くの 市民が支え合いにかかわることがで きる地域づくりが重要である
- ◆家族形態や雇用形態の変化等により,地域課題の複雑化,多様化が進んでおり,地域や社会から孤立し,課題を深刻化させてしまうひとや世帯の増加が危惧されている
- ◆課題が深刻化する前に,早期に気づき,支援に結びつける体制づくりに取り組んでいく必要がある
- ◆自立支援の取組等により,生活保護率は減少傾向にあるが,全国と比べ依然高い状況であり,引き続き制度の適正な運用を図るとともに,生活困窮者に対する自立支援の取組を行う必要がある

【設問:あなたのお住まいの地域は、住民同士のつながりが強いと思いますか。】



(資料: 京都市「地域における生活課題や支え合い活動に関する意識調査(H29)」, 「京都市における地域福祉の取組に関する意識調査(H24)」, 「地域福祉推進に関するアンケート調査(H19)」, 「地域福祉の取組(H14)」



(資料:総務省「国勢調査(H12~H27)」) 65

# 関連する分野別計画等(14 地域福祉)

# 京(みやこ)・地域福祉推進指針 < 2019-2023 > 分)



住民同士の支え合いの活動の促進

多様な主体が連携し、住民とともに協働の取組を推進する 什組みづくり

困難な課題を受け止め、円滑に支援につなぐ行政機関等の 体制の強化



#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

社会的孤立・8050問題への対応

複雑化する地域課題へのニーズに応じた対応

罪を償ったひとなど, さまざまな社会的弱者への配慮

個人間・地域間・世代間の格差・断絶の解消

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(14 地域福祉)

### 基本方針

家族形態や雇用形態の変化など、社会経済情勢の変化を背景に、複雑化、多様化する地域の福祉的課題に対して、地域住民が主体となり、地域の関係機関との連携の下、課題を共有し、それぞれの強みを生かしながら解決につなげる協働の取組を推進する。また、地域だけでは対応が困難な複合的な課題を行政や専門支援機関等がしつかりと受け止め、分野横断的に支援を行う。これらの取組を通じて、世代や分野を超えて、すべてのひとや団体が、地域、くらし、生きがいをともにつくり、高め合うことのできる地域共生社会の実現をめざす。

- 1 互いに認め合い, だれもがやりがいと喜びを感じ, いきいきと安心して 過ごせている
- 2 多様な活動団体が連携し、地域住民とともに協働の取組が推進されている
- 3 対応が困難な課題を行政,関係機関が受け止め,円滑に支援につなげられている

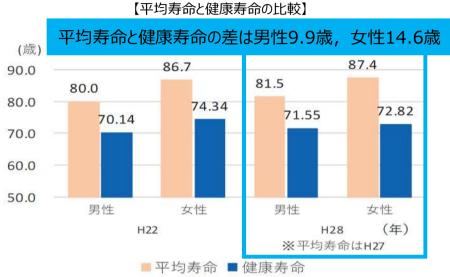
# 15 健康長寿

~子どもからお年寄りまで,すべてのひとが 笑顔でいきいきと健やかにくらせる 「健康長寿のまち・京都」を実現する~



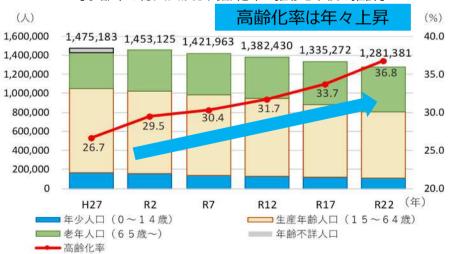
# 現状・課題 (15 健康長寿)

- ◆健康寿命の延伸に向け,ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組める環境づくりが重要である
- ◆若いときから健康づくりの習慣を持ち、高齢になっても介護予防に主体的に取り組み、地域社会と積極的に交流するとともに、さまざまな担い手として活躍し、地域の支え合いのなかで健康づくりに取り組むことが重要である
- ◆介護保険制度は利用者の増加に 伴い給付費が年々増加し,担い手 不足も懸念されるなかで,制度の 持続可能性の確保が求められる



(資料:厚生労働省,厚生労働科学研究班)

#### 【京都市の総人口及び高齢化率の推移と今後の推計】



(資料:総務省「国勢調査(H27)」, 国立社会保障·人口問題研究所)

## 関連する分野別計画等(15 健康長寿)

### 健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン < 2018-2022 > 分

市民が主役の健康づくり

京都らしいライフスタイルへの転換を促進することによる健康づくり

地域や人とのつながりの中で進める健康づくり

健康づくりに取り組める環境の整備

### 第7期京都市民長寿すこやかプラン <2018-2020> 分

健康寿命の延伸に向けた健康づくり・介護予防の推進 地域で支え合う地域共生のまちづくりの推進 安心して暮らせる住まい環境の確保と介護サービス等の充実 切れ目ない医療・介護・生活支援サービスの提供体制の強化

### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

健康長寿・高齢者の活躍, フレイル対策 地域包括ケアシステムなどの取組が重要



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

# 基本方針と2025年の姿(15健康長寿)

### 基本方針

人生100年時代を見据え、京都ならではの地域やひととのつながりのなかで、市民が主役となって楽しみながら健康づくりに取り組むとともに、社会や地域全体で健康づくりに取り組んでいく環境づくりを進める。また、高齢期を迎えても介護予防に主体的に取り組み、働き手や地域活動の担い手として活躍できる環境づくりを推進する。さらに、支援が必要になっても、医療や介護をはじめとする多職種の専門職や関係機関、地域住民との協働による、医療・介護・生活支援サービスが切れ目なく提供される地域づくりを進める。

- 1 市民が主役となり、ひと、地域、文化とのつながりのなかで健康づくりに取り組めている
- 2 高齢者が元気に社会に参加し、働き手やさまざまな地域活動の担い手として活躍している
- 3 切れ目のない医療・介護・生活支援サービスの提供体制が構築され, 住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができている

# 16 保健衛生・医療

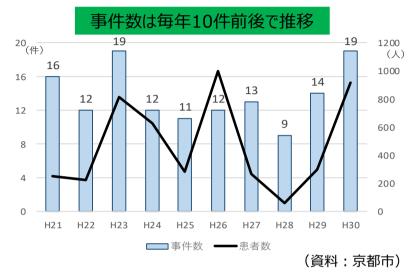
∼市民の健康や生活環境を守り、動物とも共生できる 「だれもが安心してくらせるまち京都」を実現する〜



#### 現状・課題(16 保健衛生・医療)

- ◆多様化する医療ニーズに対応し、 だれもが安心して医療が受けられる よう、切れ目なく過不足もない医療 サービスの提供体制の確保が必要で ある
- ◆海外渡航者の増加等に伴い,新たな感染症がもち込まれる可能性が高まっており,市民の健康を脅かす事案に対して,一層迅速かつ的確な対応が求められる
- ◆食を取り巻く環境が変化するなか, その安全を確保していくほか,急増 する宿泊施設の適正な運営等の確保 の取組を強力に推進する必要がある
- ◆飼い主や事業者をはじめ,市民ひとりひとりが動物愛護を理解し,協働していくことが求められる

#### 【食中毒の事件数・患者数の推移】



【手洗いチェッカーによる洗い残しの確認(リスクコミュニケーション事業)】



#### 関連する分野別計画等(16 保健衛生・医療)

## 京都市新型インフルエンザ等対策行動計画 <2013-> 分

感染拡大を可能な限り抑制し,市民の生命及び健康を保護する 市民生活及び市民経済に及ぼす影響が最小となるようにする

#### 京都市食の安全安心推進審議会(審)

食の安心の確保のためには、安全に関する取組等を理解していただき、 更に、信頼していただくことが重要

## 京都市動物愛護行動計画(改定版) <2015->

殺処分数の大幅な減少 事業者の社会的責任の徹底 人と動物のよりよい関係づくり

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

医療の充実が重要,市民生活との調和

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 <sup>7</sup>

#### 基本方針と2025年の姿(16保健衛生・医療)

#### 基本方針

市民が安心してくらせる社会を実現するため、適切な医療サービスが受けられる体制を構築するとともに、感染症や食中毒等の健康危機事案が発生した際には、迅速かつ的確に対応できる体制を確立し、また、食品の安全や衛生的な生活環境を確保する。あわせて、ひとと動物とが共生できるうるおいのある豊かな社会を実現する。

- 1 必要なときに医療サービスを利用できる
- 2 健康危機に対し、市民の安全と安心が確保されている
- 3 食や生活環境の安全と安心が確保されている
- 4 ひとと動物が共生できるうるおいのある豊かなまちになっている

# 17 学校教育

## ~市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもたちの 「生きる力」を育むまちをつくる~



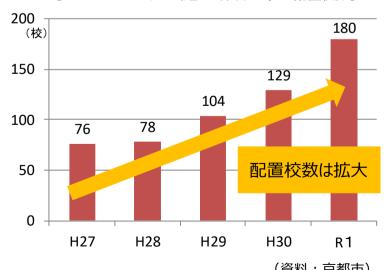
## 現状・課題(17 学校教育)

- ◆学校運営協議会や市民ボランテ ィアをはじめとした, 市民ぐるみ ・地域ぐるみの教育を引き続き進 めていくことが重要である
- ◆次代を見据えた教育を推進する ための環境整備の充実と学校体制 の確立を図る必要がある
- ◆発達障害や医療的ケア,不登校 ・いじめなど, ひとりひとりに応 じた, よりきめ細かな指導と支援 を実現する必要がある
- ◆教職員がみずからの人間性や創 造性を高めつつ質の高い教育を展 開できる環境の整備が必要である

【小・中学生による伝統文化体験】



【スクールカウンセラー (週8時間以上)の配置校数】



(資料:京都市)

#### 関連する分野別計画等(17 学校教育)

#### 学校教育の重点2019 < 2019 > (他)

本市では「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」ことを教育の 基本理念に位置づけている

京都に脈々と息づく「はぐくみ文化」の下, 「確かな学力」「豊かな心」 「健やかな体」の調和のとれた育成を基本指針とした、本市の学校教育の 歩みに誇りと自信を持ち, さらに確かなものにしていく必要がある

「持続可能な社会」の構築に果たす教育の役割への期待が高まっている

## 京都市学校施設マネジメント基本計画 <2017-2026> 分

多様な教育活動の推進

地域に開かれた学校施設の整備

安心・安全な施設環境づくり, バリアフリー化の推進

防災機能の強化・向上

省エネルギー化や木材利用等「環境に配慮した施設整備」

# 学校教育の重点 伝統と文化を受け継ぎ

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

職業観・職業倫理の教育・インターンシップ, 多様な才能を伸ばす教育 子どもへの文化の継承・実体験

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

## 基本方針と2025年の姿(17学校教育)

#### 基本方針

急速な社会の変化やAIの飛躍的な進化など、絶え間なく進む技術革新により将来予測が困難な時代と言われるなかにあっても「ひとりひとりの子どもたちを徹底的に大切にする」という京都市の教育理念の下、子どもたちが夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、はぐくみ文化を基軸として、家庭・地域・大学・産業界・NPOなどの参画を得ながら、市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を育む学校教育を推進する。

- 1 社会の宝である子どもたちを市民ぐるみ・地域ぐるみで育んでいる
- 2 子どもたちが伝統と文化を受け継ぎ、持続可能な社会の担い手として活躍している
- 3 だれひとり取り残さない、多様なニーズ等に応じた教育が展開されている
- 4 教職員が子どもといきいきと向き合うことができる環境が構築されている

# 18 生涯学習

## ~まち全体をまなびやに 市民が生涯学び,活躍できるまちをつくる~



## 現状・課題 (18 生涯学習)

- ◆文化・芸術,スポーツ等に親しむ機会を含め,さまざまな学習機会を一層提供していく必要がある
- ◆必要な知識・技能の習得,ひととひととのつながり・地域コミュニティの活性化,健康の保持増進に資する生涯学習を推進していく必要がある
- ◆生涯を通じて学び,地域に参画 し,知識・技術・経験を生かせる 環境を構築する必要がある
- ◆家庭等の教育力低下が懸念されるなか,親の学びや育ちを応援する取り組みを充実させていく必要がある

【博物館・美術館でのギャラリートーク】



【生涯学習総合センターでの「ゴールデン・エイジ・アカデミー」】



#### 関連する分野別計画等(18 生涯学習)

#### 京都市社会教育委員会議審

学校を核とした地域協働

色々な人と関わる機会が増えるようなネットワークづくり

単に知識を吸収する学びではなく,毎日の暮らしの中に直接いかしていくような仕組みとしての生涯学習

社会全体の意識改革が必要

## 京都市図書館協議会審

子どもの読書離れ対策のみならず,高齢者の居場所づくりなど, 大人に向けた取組の充実

第4次京都市子ども読書活動推進計画 <2019-2023> 分

本の魅力を感じ, 自ら進んで本に親しむ子どもの育成

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

リカレント教育

でいただいたキーワード 飛車教育委員会

## 基本方針と2025年の姿(18 生涯学習)

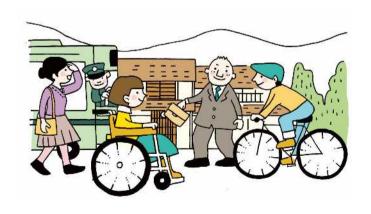
#### 基本方針

人生100年時代を見据え、豊かな人生の実現と生きがいをもってくらせる社会の創造の双方の観点から、京都ならではの市民力・地域力・文化力を結集し、子どもから高齢者、障害のあるひとなど、あらゆるひとびとの学びや文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、それらを通して得た豊かな知識・技術・経験を生かすことができ、健康長寿にもつながる生涯学習のまちづくりに取り組む。

- 1 市民がまちのあらゆる場で学んでいる
- 2 人生100年時代に向けて学びと活動の循環が形成され市民がより豊かに 生きている
- 3 京都ならではの学びを通じて多世代が交流・共生するまちになっている
- 4 「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念に基づく行動が市民に浸透している

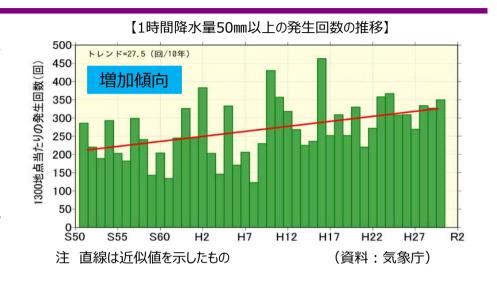
# 19 危機管理・防災・減災

~都市のレジリエンスを向上させ,あらゆる危機に しなやかに強く対応できるまちをめざす~



## 現状・課題 (19 危機管理・防災・減災)

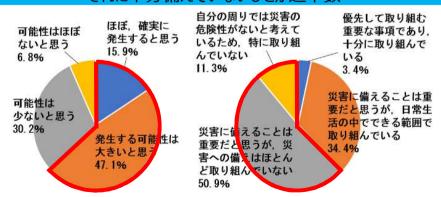
- ◆激甚化する自然災害をはじめ,複 雑多様化する危機に的確に対応して いく必要がある
- ◆災害時に,市民や観光客等が的確 な行動を取れるよう,情報の収集・ 集約・伝達体制の強化を図る必要が ある
- ◆災害発生時に,受け取り手に応じた情報の伝達,地域における支援体制づくり,避難所等の環境改善等の支援の充実が求められている
- ◆地域防災力のさらなる充実強化を 図るとともに、ひとりひとりが主体 的に行動できるよう、訓練の充実や 防災啓発等の強化を行う必要がある



【設問左:今,あなたが住んでいる地域に、将来(今後30年程度)、大地震、大水害などの大災害が発生すると思いますか】

【設問右:あなたの日常生活において、災害への備えは、どのくらい重要なことですか】

#### 災害が発生する可能性が大きいと思うひとが過半数である一方, それに十分備えていないひとが過半数



(資料:内閣府「日常における防災に関する意識や活動についての調査(H28)」)

## 関連する分野別計画等 (19 危機管理・防災・減災)

#### 京都市危機管理基本計画 < 2004->

災害,事故その他の緊急の事態に迅速かつ的確に対応し,被害の発生防止 及び軽減を図り,市民の生命,身体又は財産を保護

## 京都市国土強靭化地域計画 <2018-2022> 🗇

大規模自然災害等の様々な危機を想定した平時からの備えを重視 いかなる災害等が発生しても「強さ」と「しなやかさ」を持って 対応できる安全・安心な地域の実現

## 京都市防災対策総点検

H23東日本大震災での課題を踏まえ,それまで進めてきた本市の防災対策事業の成果と課題を検証(第1次)

H28熊本地震等から見えてきた新たな課題等への対応(第2次)

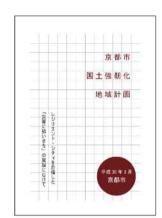
#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

危機管理・防災・減災

災害の激甚化・スーパー台風への対応

情報インフラの活用

防災はソフト面・ハード面の取組が必要



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

#### 基本方針と2025年の姿(19危機管理・防災・減災)

#### 基本方針

激甚化する自然災害はもとより、大規模停電、原子力災害、テロ災害、新たな感染症など、あらゆる危機から市民のいのち、くらしを守るため、市民、地域団体、事業者、行政等の多様な主体が相互に連携・協働するしくみをより強固にするとともに、より効果的な情報伝達体制の構築、避難体制の整備、地域防災力のさらなる充実強化により、都市のレジリエンスを向上させ、危機にしなやかに強く対応できるまちをめざす。

- 1 あらゆる危機にしなやかに強く対応できている
- 2 自然災害等の発生時に、各主体が的確な行動を起こすことができている
- 3 自然災害等の発生時に、あらゆるひとが円滑に避難できる準備が整っている
- 4 市民ひとりひとりが防災意識をもって主体的に行動できている

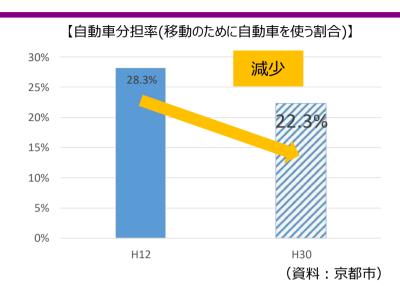
# 20 歩くまち

## ~ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の さらなる進化をめざす~



#### 現状・課題 (20 歩くまち)

- ◆観光客の急増に伴う一部の公共 交通における混雑や、人口減少・ 少子高齢化に伴う公共交通の担い 手不足等が課題となっており、 「住むひと」「訪れるひと」の双 方で持続可能な公共交通ネットワ ークを支えるしくみを構築する必 要がある
- ◆公共交通を支える担い手不足や, 車両・設備の更新費用の増加など, 市バス・地下鉄の経営環境は極め て厳しい見通しである
- ◆自転車については,ルール・マナー違反等への対応に加え,健康 増進等に向けた,さらなる活用が求められる







(資料:京都府警察)

## 関連する分野別計画等(20歩くまち)

#### 「歩くまち・京都」総合交通戦略 < 2009-> 分

- 3つの柱により取組を推進
  - ・既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする
  - ・歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちをつくる
  - ・歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルに転換する

取組を推進するための行動規範として「歩くまち・京都」憲章を同時に制定

#### 京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン <2019-2028> 分

安全運行の確保,より質の高いサービスの提供 利便性・快適性の向上,まちづくりへの貢献, 経営基盤の強化

#### 京都・新自転車計画 <2015-2020> 分)

誰もが安心して心地よく行き交うことのできる「世界トップレベルの自転車共存都市」を目指す

自転車走行環境整備,自転車安全利用の普及啓発 自転車駐輪環境整備,自転車観光,関連施策との連携

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

徒歩・公共交通・自転車のミックス,新技術・新概念(MaaS)の活用 社会的弱者の移動手段の確保,モビリティ・マネジメント



## 基本方針と2025年の姿(20歩くまち)

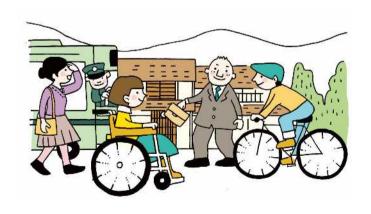
#### 基本方針

市民,事業者,行政の協働の下,「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推進するとともに,持続可能な公共交通ネットワークを形成していくことで,市民や京都を訪れるひとびとが「出かけたくなる」魅力と活力あふれるまちとくらしを実現していく。

- 1 「歩くまち・京都」の取組が進展し、「出かけたくなる」魅力と活力のあふれるまちづくりが進んでいる
- 2 便利で利用しやすい公共交通ネットワークが、「住んでよし」、「訪れてよし」のまちとしての魅力を高めている
- 3 まちの活力やにぎわいにつながる魅力的な歩行空間がつくり出されている
- 4 市バス・地下鉄が市民のくらしとまちを支えている
- 5 安心・安全で快適に自転車が利用されている

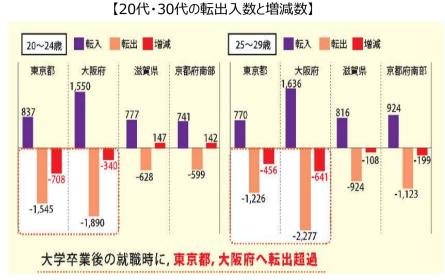
# 21 土地・空間利用と都市機能配置

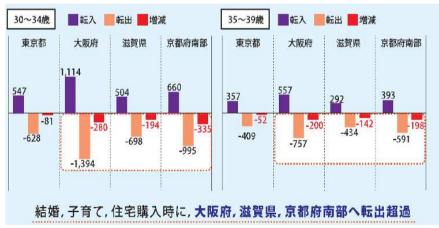
~将来にわたってくらしやすく, 魅力と活力のある持続可能な都市をつくる~



## 現状・課題(21 土地・空間利用と都市機能配置)

- ◆若年・子育て層の定住促進や産業の活性化,魅力ある働く場の創出等が課題となっている
- ◆地域の特性を踏まえた戦略的かつ計画的な都市計画の展開がより 一層求められる
- ◆一定まとまった産業用地の確保の難しさや府南部等の工業系地域より高い地価等から,企業が立地する動機付けが十分でない
- ◆ニュータウンを未来に受け継ぐ ための取組が重要となっている
- ◆市民等の自主的なまちづくり活動については,担い手や場,必要な資金の確保が厳しい状況である





(資料:京都市(H30))

#### 関連する分野別計画等(21 土地・空間利用と都市機能配置)

#### 京都市都市計画マスタープラン <2012-2025> (分)

保全・再生・創造の土地利用を基本としながら, 交通拠点の周辺に都市機能を集積させるとともに, 地域コミュニティを基本とした生活圏の維持・構築を図る

#### 京都市持続可能な都市構築プラン < 2018-> (分)

都心部と周辺部等の拠点の魅力・活力の向上 安心安全で快適なくらしの確保 産業の活性化と働く場の確保 京都ならではの文化の継承と創造 緑豊かな地域の生活・文化・産業の継承と振興

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

住む場所・働く場所の確保 活力や賑わいを生み出す質の高い拠点づくり 産業振興の骨格整備 駅勢圏拠点エリアの創出 まちづくりの担い手創出



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他

#### 基本方針と2025年の姿(21 土地・空間利用と都市機能配置)

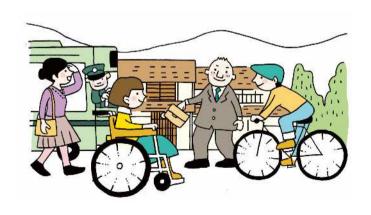
#### 基本方針

人口減少社会の到来や少子高齢化の進展といったさまざまな社会経済情勢の変化を見通し、「保全・再生・創造」の都市づくりを基本としながら、多様な地域で受け継がれてきた伝統や文化、景観、産業や知恵などの資源や特性を生かして、まちの魅力や強みを守り、さらに高めていくための土地利用や都市機能の誘導を図ることで、市民の豊かなくらし・活動を支え、新たな価値を創造する持続可能な都市を構築する。

- 1 あらゆる世代が豊かにくらせる生活圏がネットワークする都市
- 2 京都らしい魅力とにぎわいのある商業・業務機能の充実した都心空間
- 3 新たな活力を担う産業の集積地域
- 4 文化やポテンシャルを生かして新たな魅力や価値を創造するまち
- 5 新たな時代のライフスタイルを先導するニュータウン
- 6 自主的なまちづくりの展開

# 22 景観

## ~歴史・文化の継承と創造が実感でき, 世界のひとびとを魅了し続けるまちとなる~



#### 現状・課題 (22 景観)

- ◆京都の自然景観の骨格をなす三山 の森林再生が求められる
- ◆地域の特性に応じたよりきめ細かな規制・誘導により,京都らしい市街地景観の形成を進める必要がある
- ◆地域で大切に守るべき歴史や文化を市民等と共有しながら,公共空間整備も含めた歴史まちづくりに関する取組のさらなる推進が求められる
- ◆まち全体をいきいきとした場とし、 新たな景観の創造にも貢献できるよう,今まで以上に,都市計画,交通 政策,住宅政策等と連動した景観政 策へと進化させる必要がある

【世界遺産をはじめとする社寺等とその周辺の歴史的景観の保全】







## 関連する分野別計画等(22 景観)

## 京都市景観計画 < 2005-> 分

時を超え光り輝く京都の景観づくりの推進 市民等の自発的な活動や協働による良好な景観形成の推進 総合的な景観形成の推進 進化する景観政策

#### 京町家保全・継承推進計画 <2018-2027> (分)

不動産流通市場の積極的な活用地域の役割の重視

## 京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン <2011-> 分

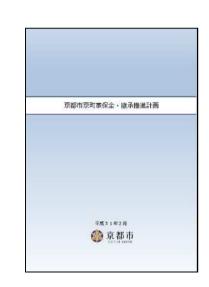
適地適木の考え方を基本とした森林景観づくり 市民やNPO,事業者等との協働による森林景観づくり など

## 京都市新景観政策の更なる進化検討委員会答申 <2019> 他

京都の目指すべき景観は,新旧が融合した,多様性と重層性を備えた 京都固有の文化を形成していくものである

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

有形無形の京都文化遺産の継承, 景観の保全・創造



## 基本方針と2025年の姿(22景観)

#### 基本方針

京都の個性や魅力の源は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。豊かな歴史的資産を保全・再生しつつ、時代に応じて新たな価値を創造することにより、新旧が融合した、多様性と重層性を備えた京都固有の景観を形成し、歴史都市・京都の魅力や価値を高め、50年後、100年後も京都が京都であり続けるため、市民と行政との協働により、時を超え光り輝く京都の景観づくりを推進していく。

- 1 京都の豊かな自然的・歴史的景観が保全されている
- 2 品格のある市街地景観が形成されている
- 3 京都独特の風情ある町並み景観が守られている
- 4 都市機能の特性に応じ、新たないきいきとした景観が創造されている

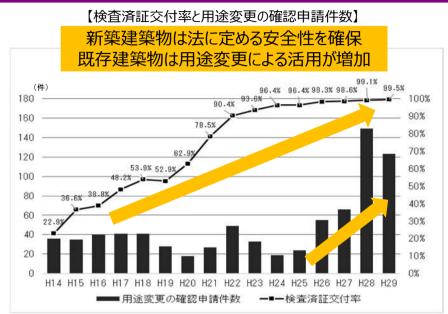
# 23 建築物

〜建築物の安全の確保と質の向上で, 歴史都市・京都ならではの, しなやかに強く 持続可能なまちをつくる〜



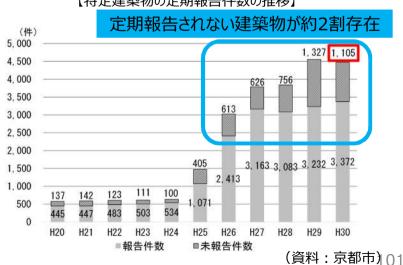
## 現状・課題 (23 建築物)

- ◆環境配慮,木材利用,バリアフリー,防災性能等の観点で,より質の高い建築物が求められている
- ◆古い既存建築物が多く,安全性の 低いものが依然存在しており,とく に耐震性の確保は喫緊の課題である
- ◆市街地には、細街路や木造家屋が 集中する密集市街地が広く分布して おり、歴史的町並みを形成する一方 で、建築物の防火性や耐震性が低く、 避難や救助活動に支障をきたす等、 防災上の課題を抱えている
- ◆市民の安心・安全を守る拠点施設の市有建築物の多くで老朽化が進んでおり、更新・大規模改修時期の集中が大きな課題となっている



(資料:京都市)

【特定建築物の定期報告件数の推移】



#### 関連する分野別計画等(23 建築物)

#### 京都市建築物安心安全実施計画 <2010-2020> (分)

安全な新築建築物を生み出す 既存建築物を安全なものにしていく

#### 歴史都市京都における密集市街地対策等の取組方針 <2012-> (

次代に継承するための災害に強いまちづくり 歴史都市京都の持続・発展に向けたまちづくり 住民・事業者・行政の協働によるまちづくり

## 京都市公共施設マネジメント基本計画 <2015-2024> 分

中長期的な計画保全等による長寿命化の推進と防災機能の強化

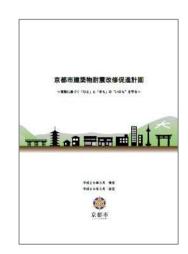
保有量とライフサイクルコストの最適化 保有資産(既存ストック)の有効活用

#### 京都市建築物耐震改修促進計画 <2016-2025> 分

京都に息づく「ひと」と「まち」の"いのち"を守る

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

都市基盤の戦略的マネジメント,木造建築物の火災対策 既存建築物の活用,防災と景観を両立するインフラ整備



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 <sup>102</sup>

## 基本方針と2025年の姿(23 建築物)

#### 基本方針

だれもが安心してくらすことができ、充実した社会経済活動を展開できる、歴史都市・京都ならではの、しなやかに強く持続可能なまちの実現をめざし、市民と行政の役割分担と協働の下、市内の建築物を安心・安全で良質なものにしていく。また、市有建築物においては、これらに先導的に取り組むとともに、最適な維持管理の取組を進めていく。

- 1 建築物の質が向上している
- 2 建築物が健全な状態で有効に活用されている
- 3 歴史都市・京都ならではの災害に強いまちづくりが進展している

# 24 住宅

~ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・まちづくりを継承・発展させる~

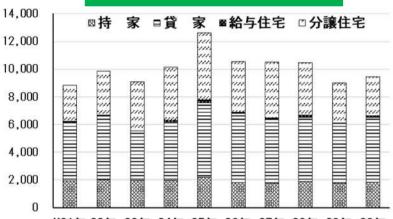


#### 現状・課題(24 住宅)

- ◆次世代につなげていくべき京町家 が年間約1.7%の割合で滅失している
- ◆木造の民間賃貸住宅の約4割が旧耐震基準時のものであり、また、分譲マンションは今後、建築後30年以上経過するものが増加するとともに、管理不全化も懸念される
- ◆世帯数の減少等が見込まれる中で も,新築住宅着工件数は横ばいで推 移していることから,今後は空き家 が増加することが想定される
- ◆だれもが住み慣れた地域でくらし続けられるよう, ニーズに応じた適切な住宅の確保や, 福祉・介護・医療等と連携した包括的な居住支援が必要である

#### 【京都市の新築住宅着工数の推移】

#### 新築住宅着工件数はほぼ横ばい

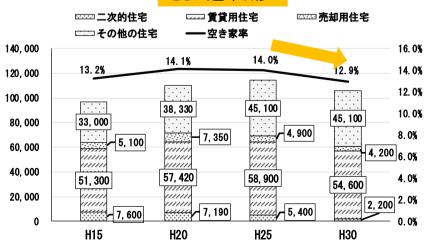


H21年 22年 23年 24年 25年 26年 27年 28年 29年 30年

(資料:国土交通省「建築着工統計調査(H21~30)」)

【京都市の空き家数及び空き家率の推移】

#### ともに近年減少



(資料:総務省「住宅·土地統計調査(H15~30)」)105

## 関連する分野別計画等(24 住宅)

## 京都市住宅マスタープラン <2010-2020> 分

京都の財産となる「環境」,「景観」,「コミュニティ」を 継承,発展させる取組を進め,京都のアイデンティティの 確立による京都のすまいの将来像・あり方を示す

防災・減災,住宅セーフティネットの構築を 効果的に進めるため,市場の機能を生かす

#### 京都市空き家等対策計画 <2017-2026> 分

建築物は,安心かつ安全な生活環境の確保及び 地域の良好な景観の保全をはじめとする公共的価値の実現に 大きな役割を担うことに鑑み,その利用及び管理が図られること

空き家等は,地域コミュニティの有用な資源として,積極的な活用が 図られること

空き家等の活用等は, 既存の建築物の保全, 活用及び流通を促進する見地から 推進されること

空き家等の発生の予防及び活用並びに跡地の活用は,地域コミュニティの活性化を図る観点から推進されること

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

空き家の有効活用,都市基盤の戦略的マネジメント

生活に直結する観点の基盤整備, 若年層の定着

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 <sup>106</sup>



## 基本方針と2025年の姿(24 住宅)

#### 基本方針

市民,企業・事業者,行政が一体となって,京都がこれまで培ってきた環境,景観,コミュニティ,生活文化を大切にしながら,防災・減災,住宅セーフティネット(安全網)機能の充実を図ることにより,くらしやすく魅力のある,持続可能なすまい・まちづくりを推進していく。

- 1 生活文化を大切にするくらしが営まれている
- 2 安心・安全で快適にくらせる持続可能なすまい・まちが形成されている
- 3 住宅ストックの流通が活発に行われている
- 4 民間賃貸住宅を含めた住宅セーフティネット(安全網)機能の充実が図られている

# 25 道と公園・緑

## ~安心・安全で持続可能な都市の発展を支える 道と公園・緑を創造する~



# 現状・課題(25 道と公園・緑)

- ◆災害による交通遮断の発生に伴う, 市民生活,社会経済活動への影響が 拡大しないよう,円滑な交通や安全 の確保などが求められている
- ◆幅広い機能をもつ公園について, 多様なニーズへの対応や, さらなる 魅力向上が求められている
- ◆街路樹や民有地の緑について,4割 のひとが増えていると感じていない
- ◆無秩序な市街化の抑制やものづくりを支える都市環境の創出など,健全な市街地形成の必要がある
- ◆橋りょう,道路,公園等の施設を, 将来にわたり,効果的かつ効率的に 維持管理していく必要がある

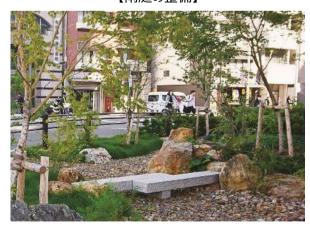
【緊急輸送道路の通行止めと災害復旧工事の状況】

#### 災害による通行止め等が度々発生

| 年度                | H26  | H27                 | H28 | H29        | H30        |
|-------------------|------|---------------------|-----|------------|------------|
| 主な<br>被災原因        | 豪雨   | 台風<br>第 <b>11</b> 号 | 大雪  | 台風<br>第21号 | 台風<br>第21号 |
| 緊急輸送道路の<br>通行止め日数 | 24日  | 2日                  | 4日  | 12日        | 24日        |
| 災害復旧工事の<br>実施件数   | 435件 | 76件                 | 23件 | 67件        | 440件       |

(資料:京都市)

【雨庭の整備】



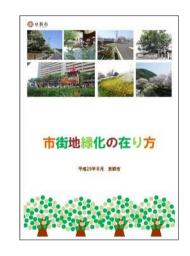
# 関連する分野別計画等(25 道と公園・緑)

# 今後の道路整備事業の進め方 < 2017-2021> (分)

日常における安心・安全の確保 防災・減災対策の推進 公共交通優先のまちづくり 他の関連事業やまちづくりとの連携 道路ネットワークの充実

# 市街地緑化の在り方 <2017-2025> 分

地域に相応しい新たな緑を増やしていく 緑の資産を大切に守り育てる



## いのちを守る橋りょう健全化プログラム(第2期) <2017-2021> (分)

(Z <del>X</del>I) \ \ Z \ Z \ T \

橋りょうの耐震補強と老朽化修繕

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

危機管理・防災・減災,広域ネットワークの形成 災害の激甚化・スーパー台風への対応,水と緑の活用 生活に直結する観点の基盤整備

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 110

# 基本方針と2025年の姿(25 道と公園・緑)

### 基本方針

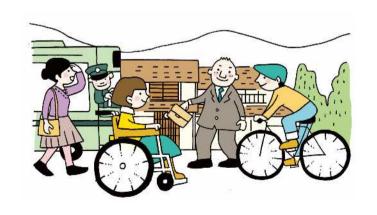
都市の活力やレジリエンスの向上に向けた道路整備と地球温暖化の防止や都市環境の向上,地域コミュニティの活性化等を図る公園整備・緑の創出を進めるとともに,膨大な数に上る社会資本について,市民協働の下,着実に維持管理を実施することで,安心・安全で持続可能な都市の発展を支える道と公園・緑を創造する。

## みんなでめざす2025年の姿

- 1 都市の活力やレジリエンスの向上に向け、道路整備が進んでいる
- 2 公園の魅力が向上し、地域にふさわしい新たな緑が増え、 大切に守り育てられている
- 3 魅力と活力のある市街地の整備が進んでいる
- 4 社会資本が将来にわたり良好に保たれている

# 26 消防·救急

# ~災害に強く安心して住み続けられる 「安心都市・京都」をめざす~



# 現状・課題(26 消防・救急)

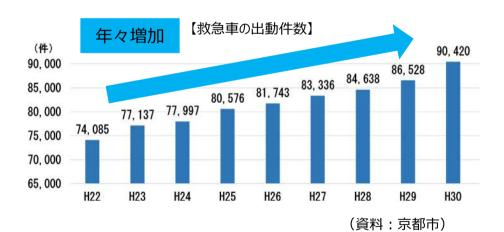
- ◆住宅火災の多くを占める高齢者宅への出火防止対策に加え,火災原因に応じた適切な防火対策を推進していく必要がある
- ◆木造建築物が多く建ち並ぶ京都ならではの町並みや文化財を火災から守る取組の推進が必要である
- ◆あらゆる災害に迅速的確に対応する消防体制の確保が必要である
- ◆増加する救急要請に対する迅速的確な対応に加え,市民による応急手当実施率の上昇を図る必要がある
- ◆消防団員数の増加,地域コミュニティの強化等による地域防災力の充実強化を図る必要がある

#### 【火災件数等の平均値比較】

| 火災件数等は減少     |            |   |                       |
|--------------|------------|---|-----------------------|
| 人火计数号は/%少    | H12~H21(年) | ⇒ | H22~H30(年)            |
| 火災件数         | 271件       | ⇒ | 234件                  |
| うち住宅火災件数※1   | 145件(51)   | ⇒ | 112件(55)              |
| 火災による死者数※2   | 13.8人      | ⇒ | 10.8人                 |
| うち住宅火災の死者数※3 | 12.9人(9.8) | ⇒ | 9.9人(7.6)             |
| 焼損面積         | 5, 664 m²  | ⇒ | 4, 911 m <sup>2</sup> |

- ※1 ()内は高齢者(65歳以上)宅の火災件数
- ※2 火災による死者数は放火自殺者等を除く
- ※3 ()内は高齢者の死者数

(資料:京都市)



# 関連する分野別計画等(26 消防・救急)

### 京都市地域防災計画(分)

市民や事業所等に対し、火器等の取扱いに関する意識の向上を 図るとともに、平常時や大規模な災害時の出火の未然防止, 初期消火の徹底、火災の拡大防止等の措置について、総合的な指導を図る

消火,救助,救急体制の充実をはじめ,情報収集,伝達機能の強化,車両,器材等の整備など,総合的な消防体制の整備を図るとともに, 大規模災害時の広域的な応援体制を確立するために, 緊急消防援助隊をはじめとする他都市の応援隊の受入体制の整備を図る

消防団の充実強化をはじめ,地域における初期消火等の防災活動を 効果的に推進するため,自主防災組織,自衛消防組織等との連携を図る

#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

木材建造物の火災対策,総合的な防災・減災対策 京都らしさを守りながらの「被害の最小化」・「復旧・復興」 防災はソフト面・ハード面の取組が必要



※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 <sup>114</sup>

# 基本方針と2025年の姿(26消防・救急)

### 基本方針

安心して市民がくらし、観光客が訪れることのできる「安心都市・京都」をめざし、火災の発生を未然に防ぎ、市民のいのちと京都の町並みや文化財などを火災から守るとともに、あらゆる災害に迅速的確に対応する消防・救急体制を確保する。また、市民・地域団体、事業所、消防団、行政が一体となった防火・防災活動を推進し、地域防災力の充実強化を図る。

### みんなでめざす2025年の姿

- 1 火災件数, 焼損面積, 火災による死者の数が減少している
- 2 貴重な文化財や京都らしい町並みを守るための防火・防災対策が進められている
- 3 あらゆる災害に対応できる力強い消防体制が構築されている
- 4 救急体制の強化や応急手当の普及啓発により、救命効果が上がっている
- 5 地域防災力が充実強化され、大規模災害発生時の被害が最小限に抑えられている

# 27 くらしの水

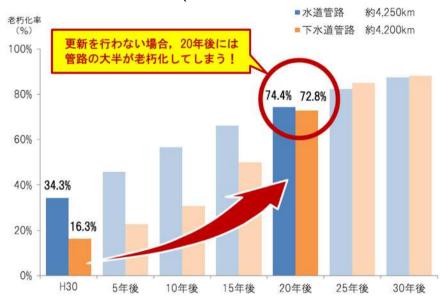
# ~ひと まち くらしを支える 京の水からあすをつくる~



## 現状・課題(27 くらしの水)

- ◆上下水道の管路・施設や河川管理施設の老朽化が進んでいることから,計画的な更新を進めるとともに,防災・減災対策を強化する必要がある
- ◆健全な水循環や意識向上等に向け, 水環境の保全,川を身近な空間にす る取組を進める必要がある
- ◆地球環境に配慮した上下水道事業 を進めるとともに,事業に対する満 足度を高めるための広報・広聴活動 等が必要である
- ◆水需要の減少による収入の減少と, 管路等更新のための費用の増大により,上下水道事業の経営環境は厳し さを増している

#### 【上下水道管路の老朽化の見通し(仮に今後更新を行わなかった場合の試算結果)】



(資料:京都市)

【平成25 (2013) 年の台風18号により 浸水した地下鉄東西線のトンネル部】



# 関連する分野別計画等(27 くらしの水)

# 「京(みやこ)の水ビジョン-あすをつくる-」 <2018-2027> 分

京の水をみらいへつなぐ:安全・安心な水道水,下水をきれいに,災害から守る京の水でこころをはぐくむ:市民ニーズに対応,文化・景観・地球環境に配慮京の水をささえつづける:技術の継承,安定した経営

# 京都市水共生プラン < 2003-> 分

流域全体を見据えた治水対策 良好な水環境の実現 健全な水循環系の回復 ゆたかな水文化の創造 雨水の利用

### 京都市河川整備方針 <2012-> (分)

親しみやすい水辺空間の創出 国や京都府と進める川づくり 総合的な治水対策の推進 みずみずしい都市と暮らしの再生





#### 重点戦略に係る議論の中でいただいたキーワード

危機管理・防災・減災,災害の激甚化・スーパー台風への対応 水と緑の活用,生活に直結する観点の基盤整備

※分:分野別計画,審:各種審議会・懇談会等,他:その他 <sup>118</sup>

# 基本方針と2025年の姿(27 くらしの水)

### 基本方針

市民のいのちやくらしを支える重要なライフライン(生活に不可欠な施設)である上下水道は、河川とともに、都市の基盤施設であると同時に琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担い、流域全体の水環境の保全に大きな役割を果たしている。安全・安心で良質な水道水を安定的に供給する水道、そして大雨による浸水被害を軽減し快適で衛生的な都市生活を支える下水道の整備を進めるとともに、近年多発している集中豪雨等からいのちとくらしを守り、水に親しむ空間を創出する河川整備を進めることなどにより、「くらしの水」を将来にわたって守り続けていく。

## みんなでめざす2025年の姿

- 1 安全・安心で環境に配慮した上下水道をいつでも利用できる
- 2 河川や雨水幹線の整備が進んでいる
- 3 水と共に生きるまちづくりが進められている
- 4 上下水道事業に対する満足度が向上している
- 5 長期的な視点に立った事業運営ができている

#### 各政策分野の基本方針一覧

資料4

うるおい 政策分群 基本方針 豊かな地球環境を未来へ引き難ぐために、地球温暖化対策。生 環境 物多様性保全。ごみ滅量等の課題に対し市民、事業者、地域団体 行政等、オール京都で、これ全での延長にとど生らない散誌を実 鏡し、2060年までの二酸化炭素排出量「正珠ゼロ」等の日標達成 に向け、環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす。 少子高齢化や国際化。情報化、経済・雇用環境の変化が進むな か、多様な考え方や生き方が迎え入れられ、個性と能力を十分に 人権・ 男女共和義 発揮でき、日々の交流のなかからひとりひとりが尊重され、より 豊かな人間関係が育まれるだれひとり取り残さない実生社会を めざす。 自治会・町内会などの地域団体をはじめ、地域企業、市民活動 市民生活と 団体等が地域のさまざまな課題に対して、連携して解決に取り組 コミュニティ むとともに、地域におけるさまざまな展場所や低端の場づくりな どを進め、これを行政が支えることで、多様な地域コミュニティ の活性化に向けたまちづくりを進める。 京都がもつ地域力を生かし、地域住民をはじめあらゆる関係機 市民生活の 関と一層連携を扱めることにより、犯罪、交通事故、消費者被害 安全 美約トラブルを予防し、被害拡大防止のために対応するととも に、被害に遭わないようよりよい防犯環境へと発展させていく。 主た。市民が地域における防犯活動・交通安全運動などの活動 に積極的に参加し、取組の軸を大きくすることができるような施 策を展開することで、すべてのひとが安心して安全にくらせるよ りよい地域共生社会を実現する。 市民の生活に息づくくらしの文化や、伝統文化から提代音術主 文化 で幅広い文化。有形無形の文化遺産をはじめとする多様な文化を 維持、継承、然用しつつ、創造的に発展させていくため、持続可 総な文化鑑賞を展開する。主た、文化とあらゆる政策の融合を推 適し、そこから生主れる新たな価値が担乗効果を生み、文化音折 が経済や社会の発展を牽引する「地方創生のモデル都市」となる とともに、新・文化庁と連携し、日本の文化 GDP の拡大や「文 化芸術立国」に貢献する。 「だれもが、いつでも、どこでも、する・みる・支える。さま スポーツ ぎまなかたちでスポーツやレクリエーションに親しみ、その環境 をみんなで支え合うまちづくり」を市民、関係団体等と行牧とが 一体となって進める。人生100年時代を見描え、市民ひとりひと

> りがスポーツを楽しむことで、健康や心の豊かさを享受するとと もに、多様な仲間とつながる取組を推進する。スポーツと文化。 産業、観光、環境、教育などとがつながることで、京都の主ちを

さまざまな分野からより魅力あるものにする。

| 銀千万月    | All's                            |
|---------|----------------------------------|
|         | 馬性化                              |
| 政策分野    | 基本方針                             |
| 7       | 京都のまちに息づく伝統文化とそれを支える匠のわざ、ひとび     |
| 産業・商業   | との生活文化や美意識。さらには地域企業の優れた技術力。大学    |
|         | の集積といった京都の「強み」を生かすとともに、国内外からの    |
|         | 起業家の呼び込みやクリエイティブな企業の進出によって、文化    |
|         | と経済の融合、異分野との交流による新たなイノベーションを加    |
|         | 速し、衣世代産業を生み出す産業創造都市をめざす。         |
|         | 主た。地域コミュニティを支える地域企業の発展と担い手の確     |
|         | 保や、仏教命事、我店街の報義、京都の豊かな食生活を支える流    |
|         | 通体制の整備によって、持続可能な京都経済の好価値を生み出     |
|         | し、市民生活の豊かさにつなげていく。成に向け、環境と調和し    |
|         | た持被可能な社会の実現をめざす。                 |
| 8       | 市民・観光客・事業者、そして未来にとってよりよいまちづく     |
| 解化:     | りを推進することによって、「持続可能で適足皮の裏い国際文化    |
| 77.00   | 観光都市」を実現し、市民が個かく観光客を設え入れ、市民と国    |
|         | 内外からの観光客との交流が盛んなまちをめざす。そのために、    |
|         | 地域の特性や意向に応じ、観光課題の解決を注じめ市民生活の安    |
|         | 心安全。地域文化の継承を最重要接した市民生活と観光の調和に    |
|         | 全力をあげて取り組む。                      |
|         | そして、引き続き観光の質を高めることで、市民、観光客、観     |
|         | 光事事者の演足度を向上させるとともに、観光と MIOE による経 |
|         | 済効果を京都経済全体に抱及させ、市民生活の豊かさ、文化の離    |
|         | 承・創造につなげる。                       |
| 9       | 京都市の農林豪は、市民に食料や木材を供給するとともに、食     |
| 異林家     | 文化。文化財、伝統首称や伝統産業等、京都のひとびとのくらし    |
| across. | や文化を支える産業として発展してきた。二酸化炭素吸収額とし    |
|         | ての機能をはじめ、生物多様性の保全や美しい景観の形成等の多    |
|         | 面的な機能を有する異地や森林が今後も適切に保全されるよう。    |
|         | 治事としての魅力を高めて担い手を確保し、持続可能な農林事を    |
|         | めざす。                             |
|         | さらに、台馬や集中養所等の自然災害の多契や環境の変化に対     |
|         | して高い対応能力を備えた農林業を推進し、市民生活の安全・安    |
|         | 心の確保につなげる。                       |
|         | 主た。京都市の文化霊術の継承・発展を支える京都ならではの     |
|         | 農林事の接着を図るとともに、市民が自然とふれあう機会を創出    |
|         | 46.                              |
| 10      | 千年を超えて、都市の機動・文化が継承・発展しつつ、世界に     |
| 大学      | も関かれた稀有な都市「京都」で学ぶ意義を再確認し、その魅力    |
| 2.22    | を高めるとともに、国内外に強力に発信することで、留学生。社    |
|         | 会人を含む多様な学生を受け入れ、これからの社会の扱い手を直    |
|         | 都から輩出する。また、京都のすべての大学が保性・特色を生か    |
|         | しながら発展し続けられるよう。大学の敬和を全面的にサポート    |
|         | するとともに、集積された大学の知・学生の力を最大級に生かし    |
|         | た。産業・文化の創造・発展。地域の活性化をより一層進める。    |
| 11      | 京都が世界に持る歴史や伝教文化、産業、緑豊かな風土に加え。    |
| (国際     | 環境や景観等の先達的な取組など、京都の魅力を広く世界に発信    |
|         | するとともに、世界中から多種多様なひとびとを積極的に受け入    |
|         | れ、さまざまな交流を通して新しい価値を創造する世界の都市     |
|         | TRYOTO, 8054.                    |
|         | また。あらゆる市民が外国文化への理解を探めることにより。     |
|         | 異なる文化的背景や価値観等の多様性が生かされるまちづくり     |
|         | を推進する。                           |
|         |                                  |

|                   | すこやか  |         | まちづくり  |  |  |
|-------------------|---|---------|--|--|--|
| 政策分野              | 基本方針  | 政策分算    | 基本方針   |  |  |
| 12                | 妊娠前から子ども・若者までの切れ目ない支援をさらに推進す                                      | 19      | 巻医化する自然災害はもとより、大規模停電、原子力災害、テ   |  |  |
| 45.6.             | るとともに、京都ならではの市民力・地域力・文化力を結集して                                     | 危機管理・   | ロ災害。新たな感染症など、あらゆる危機から市民のいのち、く  |  |  |
| 若者支援              | 市民の生き合う力を高め、子ども・若者が将来の展望をもって成                                     | 初次・減災   | らしを守るため、市民、地域団体、事業者、行政等の多様な主体  |  |  |
|                   | 長できる主ちを実現する。  |         | が相互に連携・接着するしくみをより強固にするとともに、より  |  |  |
| 13                | 障害のあるひとが、地域で自立した生活を質み、社会のさまざ                                      |         | 効果的な情報伝達体制の構築。避解体制の整備、地域防災力のさ  |  |  |
| 建审者福祉             | 生な分野の活動に参加できるよう。障害者施策の総合的、分野模                                     |         | らなる充実強化により、都市のレジリエンスを向上させ、危機に<br>したことに対し、  |  |  |
|                   | 素的な展開を図る。これにより、練客のあるひともないひとも、                                     |         | しなやかに強く対応できるまちをめがす。  |  |  |
| 1                 | すべてのひとが尊重し合い。地域社会のなかで、お互いに認め合い、支え合い、安心してくらせるまちづくりを推進していく。         | 20 歩く主ち | 市民、事業者、行政の協働の下、「歩いて楽しいまちづくり」を<br>より一層推進するとともに、跨続可能な公共交通ネットワークを                   |  |  |
| 14                | 家族形態や雇用形骸の変化など、社会経済情勢の変化を背景                                       | 3/120   | 形成していくことで、市民や京都を訪れるひとびとが「出かけた  |  |  |
| 地域福祉              | に、複雑化、多様化する地域の福祉的課題に対して、地域住民が                                     |         | くなる」魅力と活力あかれるまちとくらしを実現していく。  |  |  |
| 1,190,341,000,000 | 主体となり、地域の関係機関との連携の下、設額を共有し、それ                                     | 2.1     | 人口減少社会の到来や少子高齢化の連腸といったさまざまな  |  |  |
| 1                 | ぞれの強みを生かしながら解決につなげる協働の取組を推進す                                      | 土地・空間   |  |  |  |
| 1                 | る。また、地域だけでは対応が困難な複合的な機器を行政や専門                                     | 利用と     | を基本としながら、多様な地域で受け継がれてきた伝統や文化。  |  |  |
| 1                 | 支援機関等がしつかりと受け止め、分野機断的に支援を行う。こ                                     | 都市機能    | 景観、産業や知恵などの資源や特性を生かして、まちの魅力や強  |  |  |
| 1                 | れらの放航を通じて、世代や分野を超えて、すべてのひとや団体                                     | 配便      | みを守り、さらに高めていくための土地利用や都市機能の誘導を  |  |  |
| 1                 | が、地域、くらし、生きがいをともにつくり、裏め合うことので                                     |         | 図ることで、市民の豊かなくらし・抵動を支え、新たな価値を創  |  |  |
|                   | きる地域共生社会の実現をめざす。  |         | 造する持続可能な都市を構施する。   |  |  |
| 1.5               | 人生 100 年時代を見損え、京都ならではの地域やひととのつな                                   | 2.2     | 京都の個性や魅力の振は、歴史や文化であり。そしてそれらを   |  |  |
| 健康長寿              | がりのなかで、市民が主役となって楽しみながら健康づくりに取                                     | 景観      | 表象する美しい景観である。豊かな歴史的資産を保全・再生しつ  |  |  |
|                   | り組むとともに、社会や地域全体で健康づくりに取り組んでいく                                     |         | つ。時代に応じて新たな価値を創造することにより、新旧が融合  |  |  |
| 1                 | 環境づくりを進める。また、高齢期を迎えても介護予防に主体的                                     |         | した。多様性と重要性を博えた京都因有の景観を形成し、歴史都  |  |  |
| 1                 | に取り組み、働き手や地域活動の担い手として活躍できる環境づ                                     |         | 市・京都の魅力や価値を高め、50年後、100年後も京都が京都で  |  |  |
| 1                 | くりを推進する。さらに、支援が必要になっても、医療や介護を<br>はじめとする多機種の専門機や関係機関、地域住民との協働によ    |         | あり続けるため、市民と行放との協働により、時を超え光り輝く<br>京都の景観づくりを接進していく。                                |  |  |
| 1                 | る。医療・介護・生活支援サービスが切れ日なく提供される地域                                     | 2.3     | だれもが安心してくらすことができ、充実した社会経済活動を   |  |  |
| 1                 | づくりを進める。  | 維修物     | 展開できる。歴史都市・京都ならではの、しなやかに強く持続可  |  |  |
| 1.6               | 市民が安心してくらせる社会を実現するため、適切な医療サー                                      | PER ST  | 朝なまちの実現をめざし、市民と行政の役割分担と協働の下、市  |  |  |
| 保健衛生・             | ピスが受けられる体制を構築するとともに、感染症や食中毒等の                                     |         | 内の維護物を安心・安全で良質なものにしていく。また。市有雑  |  |  |
| 医療                | 健康危機事実が発生した際には、迅速かつ的確に対応できる体制                                     |         | 藝物においては、これらに先導的に取り組むとともに、最適な線  |  |  |
| 1.2.55            | を確立し、また、食品の安全や微生的な生活環境を確保する。あ                                     |         | 特管項の取組を進めていく。  |  |  |
| 1                 | わせて、ひとと動物とが共生できるうるおいのある豊かな社会を                                     | 2.4     | 市民、企業・享業者、行政が一体となって、京都がこれまで培   |  |  |
|                   | 実現する。   | 任老      | ってきた環境。景観。コミュニティ、生活文化を大切にしながら、   |  |  |
| 17                | 急速な社会の変化や AI の飛躍的な進化など。絶え間なく進む                                    |         | 防災・減災。住宅セーフティネット(安全網)機能の充実を図る  |  |  |
| 学校教育              | 技術革新により将来予測が困難な時代と言われるなかにあって                                      |         | ことにより、くらしやすく魅力のある。神殿可能なすまい・まち  |  |  |
| 1                 | も「ひとりひとりの子どもたちを徹底的に大切にする」という意                                     |         | づくりを推進していく。  |  |  |
| 1                 | 都市の教育理念の下。子どもたちが夢と希望をもって未来を切り                                     | 2.5     | 都市の活力やレジリエンスの向上に向けた道路整備と地球風  |  |  |
| 1                 | 搭いていけるよう。はぐくみ文化を基軸として、家庭・地域・大                                     | 道と      | 接化の防止や都市環境の向上、地域コミュニティの活性化等を図  |  |  |
| 1                 | 学・産業界・NFO などの参照を得ながら、市民ぐるみ・地域ぐる<br>みで子どもたちの「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな | 公園・緑    | る公園整備・緑の創出を連めるとともに、膨大な数に上る社会資本について、市民協働の下、着実に維持管理を実施することで、                       |  |  |
| 1                 | (本) を育む学校教育を推進する。   |         | 安心・安全で持続可能な都市の発展を支える道と公園・緑を創造  |  |  |
| 18                | 人生100年時代を見振え、豊かな人生の実現と生きがいをもっ                                     |         | 48.  |  |  |
| 生誕学習              | てくらせる社会の創造の双方の観点から、京都ならではの市民                                      | 26      | 安心して市民がくらし、観光客が訪れることのできる「安心都   |  |  |
| 17.07.5151        | 力・地域力・文化力を結集し、子どもから変動者、確害のあるひ                                     | 消防・後急   | 市・京都」をめざし、大具の発生を未然に訪ぎ、市民のいのちと  |  |  |
| 1                 | となど、あらゆるひとびとの学びや文化賞術に載しむ機会を創出                                     |         | 京都の町並みや文化財などを大災から守るとともに、あらゆる災  |  |  |
| 1                 | するとともに、それらを通して得た豊かな知識・技術・経験を生                                     |         | 客に迅速的確に対応する消防・教急体制を確保する。また。市民・   |  |  |
| 1                 | かすことができ、健康長寿にもつながる生涯学習のまちづくりに                                     |         | 地域団体、事業所、網防団、行政が一体となった防火・防災活動  |  |  |
|                   | 取り献む。   |         | を推進し、地域防災力の充実強化を図る。  |  |  |
|                   | - 100 miles   | 2 7     | 市民のいのちやくらしを支える重要なライフライン(生活に不   |  |  |
|                   |   | くちしの水   |  |  |  |
|                   |   |         | であると同時に琵琶湖・旋川木系における木道像の一貫を担い、  |  |  |
|                   |   |         | 流域全体の水環境の保全に大きな役割を果たしている。安全・安  |  |  |
|                   |   |         | <ul><li>むで具質な水道水を安定的に供給する水道。そして大雨による浸<br/>大切するがは、は逆つ事とからだまがあるまと、アナスの動物</li></ul> |  |  |
|                   |   |         | 木被害を軽減し快適で衛生的な都市生活を支える下水道の整備<br>を進めるとともに、近年多発している集中豪州等からいのちとく                    |  |  |
|                   |   |         | を述めることもに、近年を発している無千東府寺からいつらこく<br>ちしを守り、木に親しむ空間を創出する河川整備を造めることな                   |  |  |
|                   |   |         | とにより、「くらしの水」を将来にわたって守り続けていく。   |  |  |
|                   |   |         | STREET, A SHAND STREET, SALASSON SALAS   |  |  |